店POWER®

操作マニュアル

CYBER LINKS

2024 年 05 月

１．はじめに
　１－１　店ＰＯＷＥＲとは

２．事前準備
　２－１　カテゴリーの登録
　２－２　パターンコードの登録

３．取引先のデータを登録する
　３－１　棚割データの取り込み
　３－２　棚割データを開く

４．棚割モデルの作成
　４－１　既存棚割モデルを開く
　４－２　棚割モデルを新規作成する
　４－３　什器を設定する
　４－４　商品を陳列する
　４－５　任意のコメントや図形を追加
　４－６　作成した棚割モデルを保存

５．店舗の棚割管理
　５－１　店舗で採用する棚割を設定する
　５－２　棚割のスケジュールを確認・変更する
　５－３　店舗で採用している棚割のスケジュールを確認・変更する
　５－４　店舗で採用している棚割の変更状況を確認する

６．既存棚割モデルの編集
　６－１　実施モデルの一括作成
　６－２　一括で商品を入れ換える
　６－３　一括で商品を入れ換える（ATW クラウド版）
　６－４　一括で商品のフェイス数を変更する

７．帳票を作成する
　７－１　帳票とは
　７－２　開いている棚割モデルの帳票を作成する
　７－３　店舗への作業指示書を作成する
　７－４　店舗の陳列商品を確認する

８．他システムとの連携
　８－１　ゴンドラ No を登録する
　８－２　商品の発注数を設定する
　８－３　商品の最大在庫や最小在庫を登録する
　８－４　削除商品の区分を登録する
　８－５　商品の陳列データを抽出する

１－１　店ＰＯＷＥＲとは

店POWERは、商品情報や画像を利用して棚割を作成し、「棚割の分析改善」「店舗への作業指示書の発行」「プライスカード発行や自動発注システムなどへの陳列データの連携」を行ない、棚割を中心にした各業務の効率化、レベルアップするためのシステムです。
取引先システムともデータの互換性があるため、スムーズに提案を受けつつ自社主導で棚割を管理できます。

店ＰＯＷＥＲに必要なデータについて

店POWERで棚割を管理するために必要なデータの中から代表的なものを解説します。

棚割を作成するためのデータ	
商品情報	ＪＡＮコード、商品名、商品サイズ、原価、売価など、棚割の作成や分析に必要なデータ。
商品画像	商品の正面画像、上面画像など、棚割をビジュアルで表現するために必要なデータ。

例）

商品情報

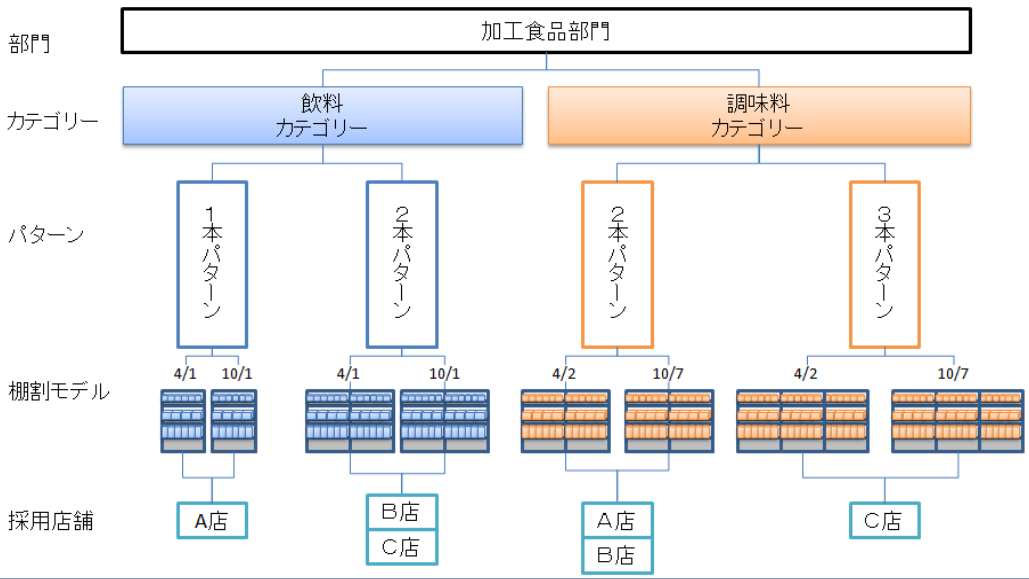
共通商品コード	4528121123454
商品名	店パワーチップス
商品サイズ	幅：100　高：200　奥行：50
売価	150
メーカー	4528121
品種	1234567

商品画像

帳票作成や分析に必要なデータ	
商品分類	メーカー、品種などの商品が属するグループ。商品情報と組み合わせて登録します。
売上情報	売上数量、売上金額、など。週単位や月単位の合計値。

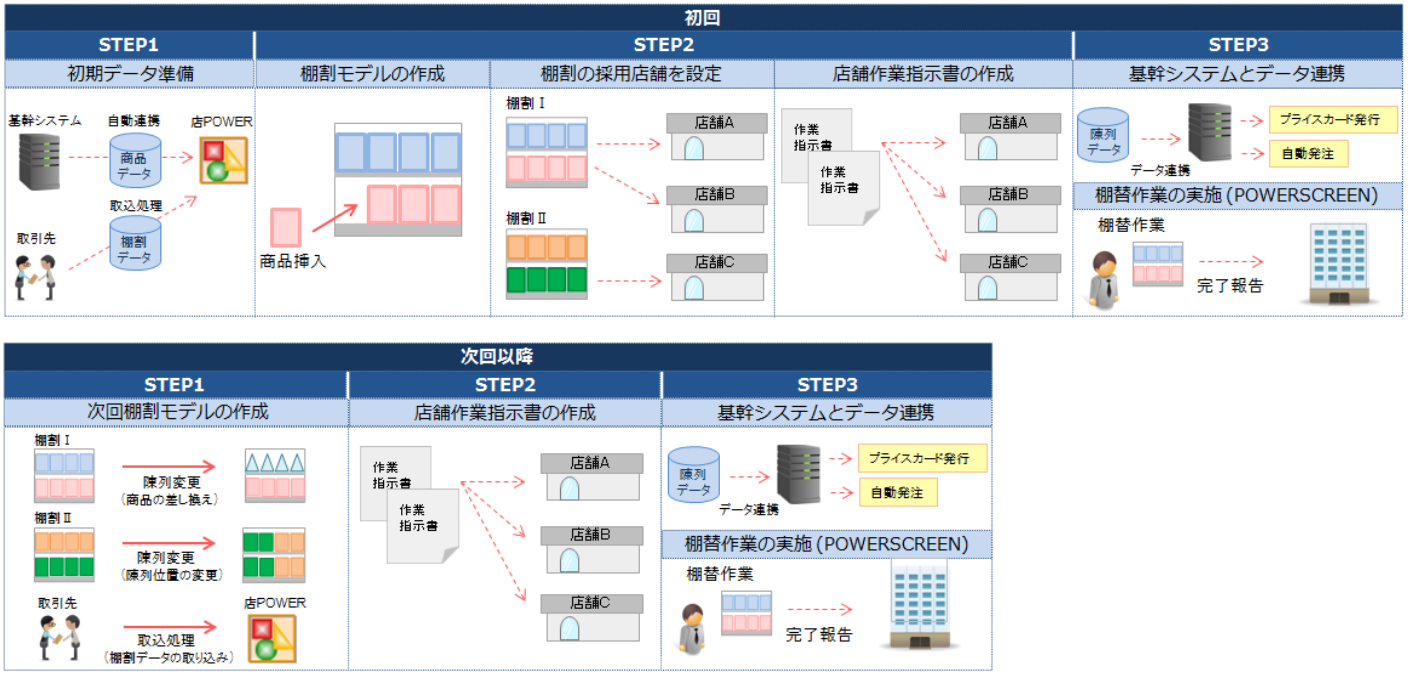
棚割モデルを管理するためのデータ	
部門・カテゴリー	加工食品部門、飲料カテゴリー、などの棚割が属するグループ。
パターン	カテゴリーと階層関係にある棚割のパターン。3 尺 2 本パターン、3 本パターンなど。
棚割モデル	システム上で作成した棚割データ。(時系列で管理できます)
店舗	東京店、大阪店など。

イメージ図



©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

運用フロー



～初回～

ＳＴＥＰ１：初期データ準備	
準備するデータ	登録方法
・商品情報、商品画像 ・部門、カテゴリー、パターン 店舗	・基幹システムから自動連携 ・取引先から出力されたデータの取り込み ・店ＰＯＷＥＲ上で個別登録 ・データが入力された Excel を店ＰＯＷＥＲで取り込み(一括登録)

ＳＴＥＰ２：棚割作成～店舗の指示書作成	
棚割モデルの作成	登録したデータを使って棚割モデルを作成します。
棚割の採用店舗を設定	作成した棚割モデルを採用店舗へ割り付けることで各店舗の陳列データが登録されます。
店舗作業指示書の作成	陳列データを活用して「棚割図」や「陳列商品一覧表」などの作業指示書を作成します。

ＳＴＥＰ３：陳列データの活用	
基幹システムとデータ連携	店ＰＯＷＥＲに登録された各店舗の陳列データを自社の基幹系システムと連携させて、 プライスカード発行システムや自動発注システムに利用することができます。
棚替作業の実施	店ＰＯＷＥＲより出力された作業指示書を使用することでスムーズな棚替作業ができます。 また、別システム「ＰＯＷＥＲ　ＳＣＲＥＥＮ」を利用すると棚替後に完了報告が可能となり 各店舗の棚替進捗状況を本部で確認することができます。

～次回以降～

ＳＴＥＰ１：次回棚割モデルの作成	
商品の差し換え	カット商品と追加商品を差し換えます。 陳列商品変更後の陳列データを次回棚割モデルとして保存します。
陳列位置の変更	既存の棚割モデルを開き、陳列位置を変更して次回棚割モデルとして保存します。
棚割データの取り込み	取引先から受け取った棚割データを取り込み次回棚割モデルとして保存します。

ＳＴＥＰ２～３：作業指示書の作成～陳列データの活用
初回時と同様の作業を実施します。（次回棚割モデルの陳列データを使用して作成された作業指示書を店舗に配信します） 「追加」や「カット」などの変更内容を示した作業指示書を作成するときには、自動で過去と未来の棚割を比較して商品をリストアップします。

※別システム「ＰＯＷＥＲ　ＳＣＲＥＥＮ」を利用することで、店舗作業指示書の自動作成・自動公開が可能です
※陳列データを基幹システムに連携することで基幹システム側での登録作業をなくし、作業負担を軽減します

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

操作画面

店ＰＯＷＥＲは、操作の目的に合わせてタブごとに機能をまとめており、直観的に操作ができます。

◆　棚割モデル選択状況による変化

棚割モデルを開いている時と開いていない時とで表示される機能が異なります。

◇棚割操作タブ-棚割モデル未選択時

◇棚割操作タブ-棚割モデル選択時

◆　ＱＡＴ（クイックアクセスツールバー）の利用

普段よく利用する機能を画面上部の QAT エリアにお気に入りとして保存できます。
タブを切り替えることなく、すぐに目的の機能を選択できます。

◆ スプリットボタンの利用

いくつかのボタンは、アイコンと機能名で上下に分割されています。
ボタンの下部（文字部分）を選択すると、各機能の選択肢が表示されます。
ボタンの上部（アイコン部分）を選択すると、各機能の選択肢の最上部の機能が直接選択されます。

[部門]の文字部分をクリックすると「メンテナンス」「エクスポート」「インポート」の選択肢が表示され、そこから機能を選択します。
（アイコン部分をクリックすると、選択肢を経ずに直接「メンテナンス」が選択されます）

◆　ショートカットキーの活用

キーボードの Alt キーもしくは F10 を押下することでショートカットキーが表示されます。
Shift キーを押下しながら表示したショートカットキーを押下することで各機能を選択して操作することも可能です。

◆　テキスト中の画面や表記について

・カテゴリー（カテゴリー、売場…）、商品マスターの各分類（メーカー、品種、…）など、企業毎に名称の変更が可能なためお使いの環境とボタン名が異なる場合があります。
・コード体系や名称入力の規則は企業毎に異なるためテキストの画面ではなく自社の運用ルールに従ってください。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

サポートセンターについて

操作でお困りの際はサポートセンターへご連絡ください

サポートセンター専用ダイヤル（通話料無料）

0120-987-571 受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00（土日祝日を除く）

E-Mail：mp-support@cyber-l.co.jp

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

２－１　カテゴリーの登録

概要

作成する棚割モデルの管理に必要なカテゴリー(売場)の登録をします。
棚割モデルを保存する際に、どのカテゴリー(売場)の棚割モデルなのかを設定して保存することができます。
また詳細設定で商品グループを登録でき、その商品グループから陳列したい商品を選択して棚割作成できます。

起動方法

操作方法

1. ［マスターメンテナンス］－［カテゴリー］をクリックします。
2. ［部門］をクリックして、該当部門を選択します。
3. テキストボックスにカテゴリーコードとカテゴリー名称を入力します。
4. ［登録］をクリックします。

特記事項

- 部門が未選択でもカテゴリーの登録は可能です。
- カテゴリーコードは前０ありとなしでは別コード扱いになります（例：「01」「1」など）
- 詳細設定の登録は必須ではありません。
- 詳細設定で抽出条件を設定したカテゴリーを棚割モデルに設定した場合、棚割編集時に商品リストから商品分類を指定して
- 陳列したい商品を絞り込み表示させることが可能です。
- ［出力］ボタンより、登録されているカテゴリーの一覧を Excel や PDF に出力することができます。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

２－２　パターンコードの登録

概要

新規パターンを作成する場合に使用するパターンコードとパターン名の登録を行ないます。
「飲料２本パターン」や「飲料３本パターン」などの棚割パターンの種類を登録して、棚割モデルの保存時にどのパターンに該当するのかを設定して棚割管理します。

起動方法

操作方法

1. ［マスターメンテナンス］－［パターン］をクリックします。
2. 「部門」と「カテゴリー」を選択します。
3. テキストボックスにパターンコードとパターン名称を入力して［登録］をクリックします。

特記事項

- カテゴリーの選択は必須です。
- パターンコードは前０ありとなしでは別コード扱いになります（例：「01」「1」など）
- ［出力］ボタンより登録されているパターンの一覧をExcelやPDFに出力することができます。
- パターンを削除する場合は、不要なパターンを選択してから［削除］をクリックします。
- 削除するパターンに実施モデルが存在し、棚割モデル割付がある場合はパターンを削除できません。
  （「棚割モデル割付」とは実施モデルを店舗に割り付ける設定を指します）
- 棚割モデル割付がなく、過去の棚割変更日で登録されている実施モデルが存在するパターンを削除すると非表示になります。
  （非表示になっているパターンは表示欄に「×」が表示され、棚割モデル割付の設定画面で非表示になります）
- 環境設定で「パターンコードの重複を禁止する」を設定されている場合、パターンを登録時に他のカテゴリーに同一のコードがないかをチェックして、パターンコードの重複が生じた場合には「既に登録しています」が表示されて登録できません。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

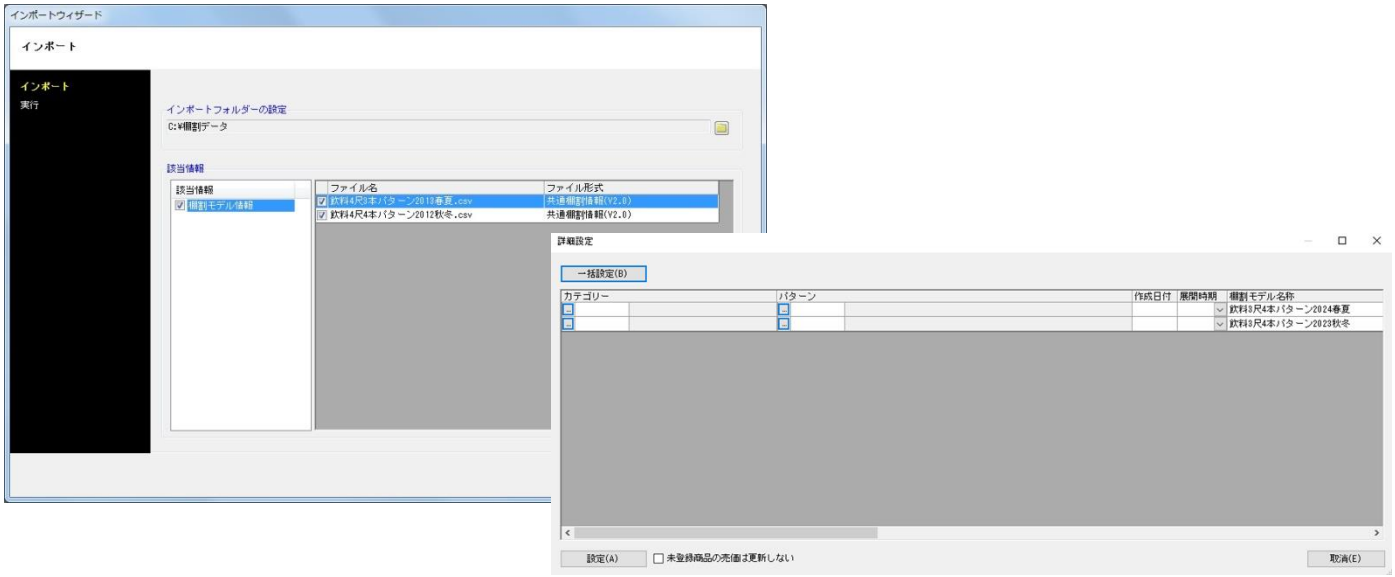
３－１　棚割データの取り込み

概要

取引先から受け取った棚割データを店ＰＯＷＥＲに取り込むことができます。
取り込んだ棚割データは「提案モデル」として店ＰＯＷＥＲに保存され、保存された提案モデルを開いて編集することが可能です。

起動方法

操作方法



1. ［データ移行］－［インポート］をクリックします。
2. インポートウィザード画面でインポートフォルダを設定します。
   （棚割データが保存されているフォルダーを選択します）
3. 該当情報に「棚割モデル情報」と表示されたことを確認して次へ進みます。
4. 棚割モデル情報の［詳細設定］を選択します。
5. カテゴリー、パターン、棚割モデル名称などの基本情報を入力して設定します。
6. ［実行］をクリックします。

特記事項

- ［データ移行］タブは棚割モデルを閉じている場合に表示されます。
- インポートした棚割は提案モデルとして保存されます。
- 該当情報に表示された「棚割モデル情報」をクリックすると画面右側に取込可能なファイルの一覧が表示されるため、取込不要なファイルがあればチェックボックスを無効に設定します。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

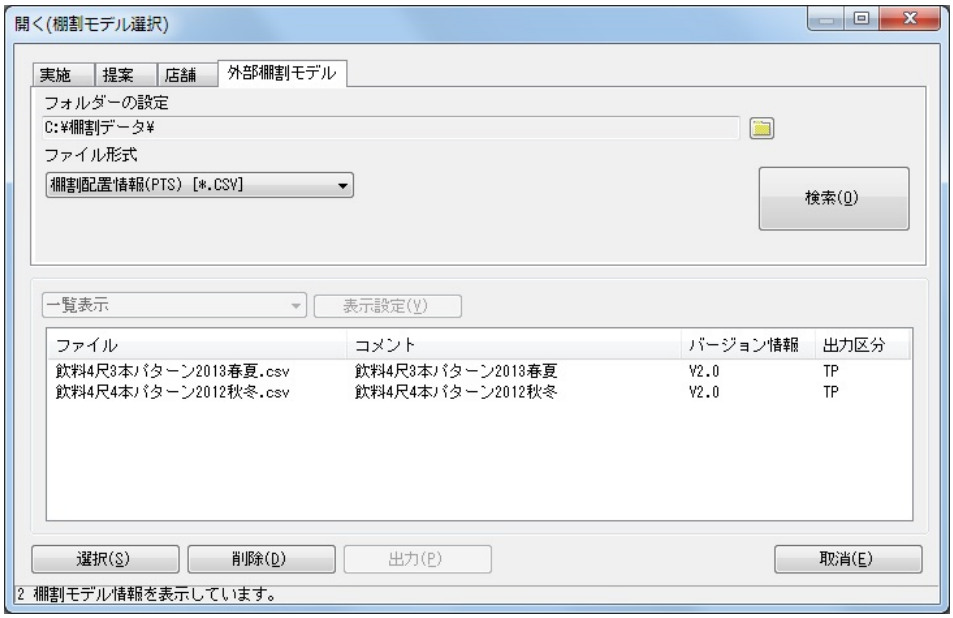
３－２　棚割データを開く

概要

取引先から受け取った棚割データを店ＰＯＷＥＲで開いて編集することができます。
取引先が作成した棚割データを開いて確認・編集ができるため、新規作成で棚割編集する時に比べて編集時間を短縮できます

起動方法

操作方法



1. ［棚割操作］－［開く］をクリックします。
2. ［外部棚割モデル］タブを選択します、
3. フォルダーの設定でフォルダーアイコンをクリックして、取引先からもらったファイルが保存されているフォルダーを設定します。
4. ファイル形式を設定して［検索］をクリックします。

外部棚割モデル[*.MPW]	店ＰＯＷＥＲから出力された独自形式の棚割データファイルです。
外部棚割モデル[*.TPW]	棚ＰＯＷＥＲから出力された独自形式の棚割データファイルです。
棚割互換形式[*.csv]	棚割配置情報(PTS)よりも再現性が高く、他社ソフトとやり取りができる新規格です。
棚割配置情報(PTS)[*.csv]	他社ソフトとやり取り可能な形式で出力された共通フォーマットです。
外部棚割モデル(旧)[*.MDL]	旧店ＰＯＷＥＲや旧棚ＰＯＷＥＲから出力された独自形式の棚割データファイルです。
全ての外部モデル	全形式の棚割データファイルを読み込み一覧表示します。

5. 一覧より開いて確認したい棚割モデルを選択します。
（複数の棚割モデルを同時に開きたい場合はキーボードの「Ctrl キー」を押しながらクリックします）
6. ［選択］をクリックします。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

４－１ 既存の棚割モデルを開く

概要

既存の棚割モデルや取り込んだ棚割モデルを呼び出して内容を確認、または編集する場合は［開く］から実行します。
棚割モデルは４種類あり、最大４モデルまで同時に開くことができます。

【棚割モデルの種別】
実施 … 正式採用され、店舗で展開される棚割モデル。世代管理されています。
提案 … 仮の棚割モデル。インポートした棚割モデルは提案モデルとして保存されます。
店舗 … 実際に店舗で展開される棚割モデル。実施モデルと店舗を紐づけることで自動作成されます。
外部 … 店ＰＯＷＥＲ内に取り込んでいない棚割モデル。ファイルの保存場所を指定して開きます。

起動方法

操作方法

実施モデルを開く

1. ［棚割操作］－［開く］をクリックします。
2. ［実施］タブを選択します。
3. ［部門］または［カテゴリー］を指定します。（必須）
   検索条件をより細かく指定したい場合は［パターン］や［詳細設定］で絞り込みます。
4. 「棚割世代」を選択します。

現状棚割	現時点で採用されている棚割モデル（棚割変更日が直近過去の棚割モデル）
未来棚割	次回以降に予定している棚割モデル（棚割変更日が未来日付の棚割モデル）
過去棚割	以前に採用していた棚割モデル（現状棚割以前の過去の棚割モデル）
入力日の直近過去	棚割変更日が入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近に採用された棚割モデル

5. ［検索］をクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

6. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

提案モデルを開く

1. [棚割操作] ー [開く] をクリックします。
2. [提案] タブを選択します。
3. [部門] や [カテゴリー]、[パターン]、作成日付、[詳細設定] など必要に応じて検索条件を指定します。
4. [検索] をクリックします。
5. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

店舗モデルを開く

1. [棚割操作] ー [開く] をクリックします。
2. [店舗] タブを選択します。
3. [店舗] を指定します。(必須)
   [部門] や [カテゴリー] を検索条件として必要に応じて指定します。
4. 「棚割世代」を選択します。
5. [検索] をクリックします。
6. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

外部棚割モデルを開く

1. [棚割操作] ー [開く] をクリックします。
2. [外部棚割モデル] タブを選択します。
3. 「フォルダーの設定」右横のフォルダーアイコンをクリックして、棚割モデルの保存場所を指定します。
4. 「ファイル形式」で棚割モデルのファイルの種類を選択します。

外部棚割モデル [*.MPW]	店ＰＯＷＥＲ独自の棚割モデル形式
外部棚割モデル [*.TPW]	棚ＰＯＷＥＲ独自の棚割モデル形式
棚割互換形式 [*.CSV]	棚割配置情報(PTS)よりも再現性が高く、他社棚割ソフトと互換性のある新規格の形式
棚割配置情報 (PTS) [*.CSV]	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式
外部棚割モデル (旧) [*.MDL]	旧店ＰＯＷＥＲ独自の棚割モデル形式
全ての外部モデル	上記全てのファイル形式を対象にします

5. [検索] をクリックします。
6. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

特記事項

- 棚割世代が「現状棚割」「過去棚割」で、店舗が割り付いている実施モデルは削除できません。
- 棚割世代が「未来棚割」の実施モデルを削除すると、割り付いている店舗モデルも同時に削除されます。
- 現状棚割を検索する際に、未来棚割が存在する場合は現状棚割に色が付きます。
- 棚割検索時、棚割世代の横にあるヘルプボタンより棚割世代の詳細を確認できます。
- 店舗モデルを開く際、店 POWER の環境設定で「棚割保存を禁止する (店舗) 」が有効になっている場合には選択ボタンは表示されず「読み取り専用で開く」ボタンが表示します。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

４－２　棚割モデルを新規作成する（基本情報を登録）

概要

新しい棚割モデルを作成します。
新規の棚割モデルを表示させた後は、棚割モデルがどの部門、カテゴリーに属する等の基本情報を設定します。
基本情報では棚割モデル名称や作成者氏名、棚割変更日なども設定できます。

起動方法

操作方法

1. ［棚割操作］－［新規作成］をクリックして、「什器選択」画面より挿入したい什器（台）を選択します。
2. ［棚割操作］－［基本情報］をクリックします。
3. 各項目に棚割モデルの情報を入力して、［設定］をクリックします。

棚割モデル種別	提案	検討用の仮の棚割で店舗に割り付けられません。 編集中の棚割モデルなどはモデル種別を「提案」にして保存しておき、完成後に「実施」に変換します。
	実施	本番用の棚割で店舗の割付が可能です。
部門	ボタンをクリックして一覧より部門コードを選択します。	
カテゴリー	ボタンをクリックして一覧よりカテゴリーコードを選択します。	
パターン	ボタンをクリックして一覧よりパターンコードを選択 します。	
作成日付 or 棚割変更日	提案の場合は「作成日付」を入力します。 「年」「月」「日」ボタンをクリックすると、当日の年月日が自動反映されます。	
	実施の場合は「棚割変更日」（実際に店舗で棚替え作業をする日付）を入力します。 [自動算出]ボタンをクリックすると、環境設定の条件に沿って日付が自動反映されます。 （[？]ボタンを選択して POWERSCREEN への連携日程を確認することも可能です）	
棚割モデル名称	棚割モデルの名称を入力します。	

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

作成者氏名	作成者の部署名や氏名などを入力します。
展開時期	春・夏・秋・冬・春夏・秋冬・上期・下期から選択可能です。

特記事項

- 実施モデルで保存する場合は「カテゴリー」や「パターン」、「棚割変更日」の入力が必須です。
- 作成日付や棚割変更日はカレンダーアイコンより設定することも可能です。
- 棚割変更日の[？]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

４－３　什器を設置する（基本操作）

概要

［什器配置］タブでは什器サイズの変更や、台や棚板の追加、移動など什器の設定に関する機能が集約されています。
台の編集時は［台編集］を選択、段の編集時には［段編集］を選択というように切り替えて、台や段の追加や移動、削除をすることができます。

起動方法

操作方法

台を編集する

［台編集］を選択します

台の追加

1. ［挿入］をクリックします。
2. 「什器選択」画面から追加したい台を選択します。
3. 画面上で台を追加したい場所をクリックします。クリックした場所の左側に入ります。

台の移動

1. ［移動］をクリックします。
2. 移動したい台の上でクリックします。
3. 移動させたい場所でクリックします。クリックした場所の左側に入ります。

台の複写

1. ［複写］をクリックします。
2. 「複写オプション」から複写する台の陳列商品、POP を含むか含まないかを選択します。
3. 複写したい台の上でクリックします。
4. 複写させたい場所でクリックします。クリックした場所の左側に入ります。

台の削除

1. ［削除］をクリックします。
2. 削除したい台の上でクリックします。

段を編集する

［段編集］を選択します

棚の追加

1. ［挿入］をクリックします。
2. 「棚追加」画面から追加したい棚の種類を選択します。
3. 棚を追加したい場所でクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

棚の移動

1. ［移動］をクリックします。
2. 移動したい棚の上でクリックします。棚と棚の間隔が狭い場合は、移動したい棚の少し上をクリックします。
3. 移動させたい場所でクリックします。

棚の複写

1. ［複写］をクリックします。
2. 「複写オプション」から複写する棚の陳列商品、POP を含むか含まないかを選択します。
3. 複写したい棚の上でクリックします。
4. 複写させたい場所でクリックします。

棚の削除

1. ［削除］をクリックします。
2. 削除したい棚の上でクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

４－４　商品を陳列する（表示画面の設定）

概要

［商品配置］タブでは、棚に商品の挿入や移動、複写、削除などの他にも、様々な陳列方法を再現できる機能が集約されています。

起動方法

操作方法

商品リスト

商品リストから棚に陳列する商品を選択します。
［Shift］や［Ctrl］キーを使用して商品をまとめて選択し、陳列できます。

［商品］タブ

メーカーや品種といった条件で表示させる商品を絞り込み、一覧で表示します。
※［商品］タブを使用するには［棚割操作］－［基本情報］で「カテゴリー」の選択が必要です。

［削除］タブ

編集中の棚割モデルから削除された商品を一覧で表示します。

［絞込検索］タブ

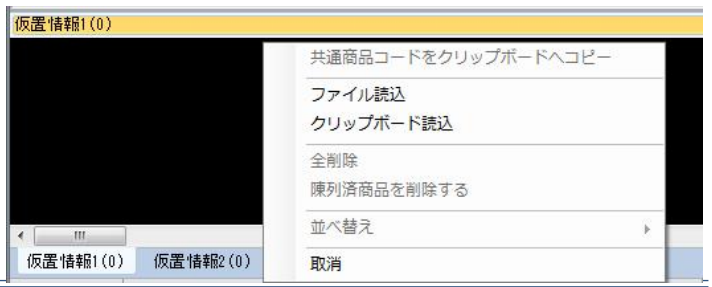
店ＰＯＷＥＲの全商品や、特定の分類やカテゴリー、指定した棚割モデルの陳列商品、商品名など様々な条件で検索し、一覧で表示します。

［単品検索］タブ

商品の共通商品コード、またはプライベートコードで商品を検索します。

仮置情報

仮置情報は棚以外に商品を置いておくスペースです。
仮置情報には１と２があり、１に陳列候補商品、２にカットした商品を置いておくというような使い方ができます。
また、Excel ファイルなどの「JAN コード」をコピーして仮置情報内に呼び出すことが可能です。
※マスターに未登録の商品はダミーイメージ（表示は「未登録」）で表示します。
仮置情報内に呼び出した商品は、［商品配置］－［移動］または［複写］で棚に移動・複写できます。



© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

表示解像度

棚割編集画面の表示解像度は画面右下で調整が可能です。

（再描画）	クリックすると、表示画面の乱れを修正します
（ダミー表示）	クリックすると、商品画像の代わりにダミーイメージで表示します
（棚幅基準）	クリックすると、棚全体の幅が画面に収まるように表示します
（棚高基準）	クリックすると、棚の高さが画面に収まるように表示します 台が多い場合は横スクロールバーが表示されます
（自動調整）	クリックすると棚の幅、高さともに画面に収まるように表示します

ウィンドウ

複数の棚割モデルを開いた場合の表示方法を選択できます。

「重ねて表示」

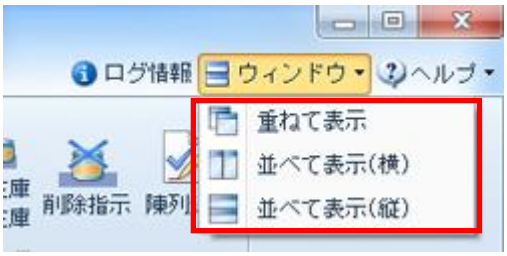
１モデルずつ重ねて表示します

「並べて表示（横）」

モデルを横に並べて表示します

「並べて表示（縦）」

モデルを縦に並べて表示します



© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

４－４　商品を陳列する（基本操作）

概要

［商品配置］タブでは、棚に商品の挿入や移動、複写、削除などの他にも、様々な陳列方法を再現できる機能が集約されています。

起動方法

操作方法

商品の陳列ルール

挿入する商品が選択したボタンの陳列ルールで陳列されます。

左詰め	商品を左端から順番に陳列します
右詰め	商品を右端から順番に陳列します
均等	商品を中央から均等に陳列します
自由	ボタンを何も選択していない場合、商品をクリックした位置に陳列します

商品を棚に挿入する

1. ［商品挿入］をクリックします。
2. 商品リストから挿入したい商品を選択します。
   （複数の商品をまとめて挿入する場合は［Shift］，［Ctrl］キーを使用して商品を選択します）
3. 棚内の陳列したい位置をクリックします。

商品を移動・複写する

1. ［移動］または［複写］をクリックします。
2. 棚内の移動・複写したい商品を選択します。
3. 複数の商品をまとめて移動・複写する場合は範囲選択（ドラッグ）します。
4. 棚内の商品を移動・複写したい場所でクリックします。

商品を削除する

1. ［削除］をクリックします。
2. 棚内の削除したい商品を選択します。複数の商品をまとめて削除する場合は範囲選択（ドラッグ）します。

指定した商品を棚から削除する

1. ［一括商品削除］-［指定商品削除］をクリックします。
2. 削除したい共通商品コードを入力します。［貼り付け］より削除したい複数の商品をまとめて選択することもできます。
3. ［実行］をクリックします。

陳列している全商品を削除する

1. ［一括商品削除］-［全商品削除］をクリックします。
2. POP を含めて削除する場合には「POP も削除する」にチェックを入れます。
3. ［実行］をクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

商品を積上げる

陳列商品の上に、商品を積上げます。

陳列商品と同じ商品を同じ面で積み上げる

1. ［積上/積下］をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から［積上（同一面）］を選択します。
   商品を複数フェイス積み上げる場合には、「積上数」を設定します。
3. 積上げたい陳列商品をクリックします。
   複数の商品をまとめて積上げたい場合は範囲選択（ドラッグ）します。

陳列商品と同じ商品を別の面で積み上げる

1. ［積上/積下］をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から［積上（面指定）］を選択します。
3. 「面指定」のドロップダウンリストより、積上げたい面を選択します。
   商品を複数フェイス積み上げる場合には、「積上数」を設定します。
4. 積上げたい陳列商品の上でクリックします。
   複数の商品をまとめて積上げたい場合は範囲選択（ドラッグ）します。

陳列商品と別の商品を積み上げる

1. ［積上/積下］をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から［積上（別商品）］を選択します。
   積上商品は「挿入」「複写」「移動」より選択できます。
   挿入‥商品リストより積上げる商品を呼出して積上します。
   複写‥棚割モデル内の陳列商品を複写して積上します。「複写」選択後、該当商品をクリックします。
   移動‥棚割モデル内の陳列商品を移動して積上します。「移動」選択後、該当商品をクリックします。
3. 商品を複数フェイス積み上げる場合には、「積上数」を設定します。
4. 「編集」をクリック後、別商品積上の商品をクリックすると、「編集（別商品積上）」のウィンドウが開きます。
   「編集（別商品積上）」で商品の積上順を変更することができます。

積上げた商品を削除する

1. ［積上/積下］をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から［積下］を選択します。
3. 削除したい積上げ商品の上でクリックします。
   複数の商品をまとめて削除したい場合は範囲選択（ドラッグ）します。
   ※［削除］を使用すると、一番下の商品含めクリックした陳列商品すべてが削除されます。

陳列している商品の情報を確認する

1. ［商品詳細］をクリックします。
2. 棚内の商品をクリックします。
3. 「商品詳細」画面が表示します。登録内容を編集する場合は、「商品詳細」画面右上の［商品情報］，［商品画像］，［売上情報］から、それぞれのメンテナンス画面を呼び出すことができます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

商品の配置を整える

棚に陳列した商品を位置を変更します。
左詰め、右詰め以外にも、棚の中央に寄せたり、均等に配置したり、左右を入れ換えたりすることができます。

棚単位で配置を変更する

1. ［配置変更］をクリックします。
2. 「配置変更」画面から、変更したい配置機能を選択します。
3. 配置を変更したい棚内でクリックします。

全台一括で配置を変更する

1. ［配置変更］をクリックします。
2. 「配置変更」画面から、変更したい配置機能を選択します。
3. ［一括設定］をクリックします。
4. 確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックします。

全台の左右の位置を反転する

1. ［配置変更］をクリックします。
2. 「配置変更」画面から、「台単位」下の［左右反転］をクリックします。
3. 確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックします。

特記事項

- 「積上/積下」
  手前挿入を行なっている商品、投込商品、フリー領域は積上げできません。
  「指定数」で設定した数以上に積み上げられなかった場合、「下記商品は指定数まで積上処理できませんでした。
  積上済数まで積上処理が完了しています。」とメッセージが表示し、対象の共通商品コードと積上済数を表示します。
- 「配置変更」
  台単位の［左右反転］を実行した場合には図形配置の設定も連動して左右反転されます。

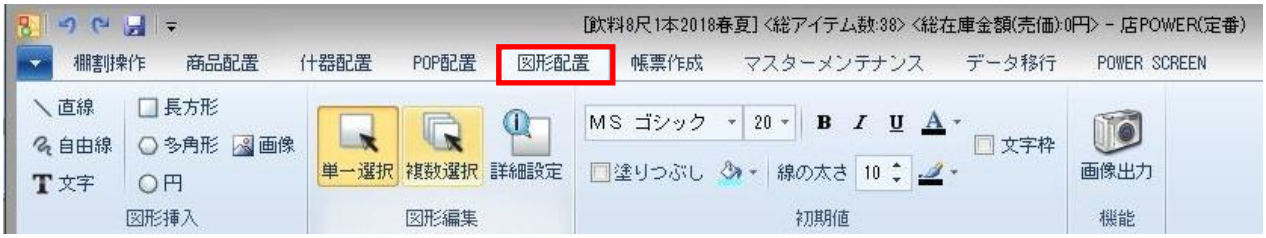
© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

４－５　任意のコメントや図形を追加する

概要

［図形配置］タブでは、作成した棚割に直線や曲線、長方形や円などの図形や文字、画像を配置することができます。
例えば、新商品を枠で囲って目立たせたり、指示内容を棚割モデル上に入力したりすることが可能です。

起動方法



操作方法

図形を配置する

配置する線や図形、文字の太さや色などは「初期値」の内容を反映するため、必要に応じてあらかじめ設定します。

直線を挿入する

1. ［直線］をクリックします。
2. 編集画面上で線を引きたい場所の始点から終点までをドラッグします。
3. 始点から終点までが直線でつながれます。

自由に線を引く

1. ［自由線］をクリックします。
2. 編集画面上でドラッグしながら自由に線を引きます。
3. ドラッグの軌跡が図形になります。

長方形を配置する

1. ［長方形］をクリックします。
2. マウスカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 編集画面上の長方形を設置したい場所で長方形の左上を始点に、右下の終点までをドラッグします。

円を配置する

1. ［円］をクリックします。
2. マウスカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 棚内の円を設置したい場所でドラッグします。ドラッグした範囲に内接して円が作成されます。

文字を入力する

1. ［文字］をクリックします。
2. マウスカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 棚内の文字を記載したい場所で入力範囲をドラッグして指定します。
4. キーボードで文字を入力します。
5. 文字入力後、入力範囲のすぐ外をクリックします。
   ※編集画面内であればどこでも良いですが、上部機能ボタン（リボン）をクリックすると入力が取り消されます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

画像を配置する

1. ［画像］をクリックします。
2. マウスカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 画像を配置したい場所を範囲選択（ドラッグ）します。
4. 「ファイルを開く」画面が表示されます。
5. 挿入したい画像を選択して［開く］をクリックします。

※縦横比を維持した状態で選択した画像を配置します。
この時の画像のサイズは、範囲指定した縦、横のうち短い方を基準にサイズを設定します。

Excel ファイルなどから複写した画像や文字を配置する

1. Excel などのファイル上にある画像や文字を複写します。
2. 画像を配置したい場所で右クリックし、[クリップ貼り付け]をクリックします。

※右クリックした場所に複写した画像や文字が貼り付きます。
この時の画像のサイズは、複写元のファイルにある見た目上のサイズをそのまま再現します。

配置した図形を編集する

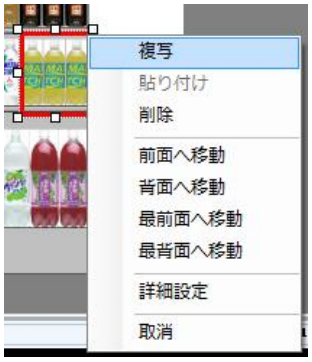
編集画面上に配置した線は複写や順序の変更、また色や太さ、大きさや角度などの変更が可能です。
また、配置した図形や文字は移動や複写、削除をすることも可能です。

図形を移動する

1. ［単一選択］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 移動したい場所にドラッグします。

図形を複写する

1. ［単一選択］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 右クリックして［複写］を選択します。
3. 複写したい場所でクリックします。
4. 右クリックして［貼り付け］を選択します。



図形の大きさを変更する

1. ［単一選択］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 図形の四隅に□（ハンドル）が表示されます。
3. □の部分をドラッグして大きさを変更します。

図形を回転させる（角度を変更する）

1. ［単一選択］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 図形の四隅に□（ハンドル）が表示されます。
3. 四隅の□のやや外側にマウスカーソルを持っていくとマウスカーソルの形が変更されます。
4. ドラッグして回転させます。

図形を削除する

1. ［単一選択］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 右クリックして　［削除］を選択します。キーボードの Delete キーでも削除できます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

図形やコメント(文字)をまとめて削除する

1. ［複数選択］をクリックして、対象の図形が含まれる範囲をドラッグします。
2. ドラッグした範囲内の図形が選択されます。
3. 右クリックして［削除］を選択します。キーボードの Delete キーでも削除できます。

線の色を変更する

1. ［詳細設定］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「線色」横の色設定ボタンを選択します。
3. 変更したい色を選択して、［設定］をクリックします。

塗りつぶしの色を変更する

1. ［詳細設定］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「塗りつぶし」横の色設定ボタンを選択します。
3. 変更したい色を選択して、［設定］をクリックします。
   ※塗りつぶしを設定したくない場合は「塗りつぶし」横のチェックボックスを無効にします。

線の太さを変更する

1. ［詳細設定］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「線の太さ」の値を変更します。
3. ［設定］をクリックします。

文字枠の色を変更する

1. ［詳細設定］をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「文字枠」横の色設定ボタンを選択します。
3. 変更したい色を選択して、［設定］をクリックします。
   ※塗りつぶしを設定したくない場合は「文字枠」横のチェックボックスを無効にします。

文字の入力内容を変更する

1. ［詳細設定］をクリックして、対象の文字の上でクリックします。
2. 下部にあるテキストボックス内の文字を直接変更します。
3. ［設定］をクリックします。

文字のフォントを変更する

1. ［詳細設定］をクリックして、対象の文字の上でクリックします。
2. ［詳細設定］画面内の［F］をクリックします。
3. フォント設定を行ないます

フォント名	フォントの種類を選択します。
スタイル	太字や斜体などのスタイルを設定します
サイズ	フォントサイズを設定します
文字飾り	取り消し線や下線を引くかを設定します

4. ［OK］をクリックします。
5. ［設定］をクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

図形配置した棚割の画像を出力する

［図形配置］より配置した線，図形，文字を含めた棚割画像を出力します。クリップボード出力，画像ファイル出力が可能です。
また、帳票作成「棚割図」を作成する際に通常の棚割図の代わりに図形配置後の棚割図を出力することも可能です。

クリップ画像としてファイルに貼り付ける

1. ［画像出力］をクリックします。
2. 「画像出力」画面が表示します。
3. 出力台をドロップダウンリストより選択します。
   全台，台別，台別（1 頁出力）より選択できます。
4. ［クリップボード］をクリックします。
5. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
6. 貼り付けたいソフト（Excel など）を立ち上げます。
7. 貼り付けたい場所で右クリックし、貼り付け（Excel の場合）などで貼り付けを行ないます。

画像ファイルとして出力する

1. ［画像出力］をクリックします。
2. 「画像出力」画面が表示します。
3. 出力台をドロップダウンリストより選択します。
4. 全台，台別，台別（1 頁出力）より選択できます。
5. ［ファイル出力］をクリックします。
6. 「名前を付けて保存」画面で任意のファイル名を付けます。
7. 任意の場所を選択し、［保存］をクリックします。

棚割図として出力する

1. ［帳票作成］－［棚割帳票］より出力したい帳票を選択します。
2. 設定画面の［詳細設定］をクリックします。
3. ［棚割図］タブのオプション設定内「図形配置画像を優先して出力する」を有効にします。
4. ［設定］をクリックします。
5. 通常の棚割画像の代わりに、図形配置後の棚割画像が出力されます。

特記事項

- 複数選択で選択した複数の線、図形、文字、画像いずれも、まとめて複写することはできません。
  また、まとめて編集することもできません。
- 図形配置した棚割の画像を反映できる帳票は棚割図，棚割図表，追加変更棚割図，追加変更棚割図表です。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

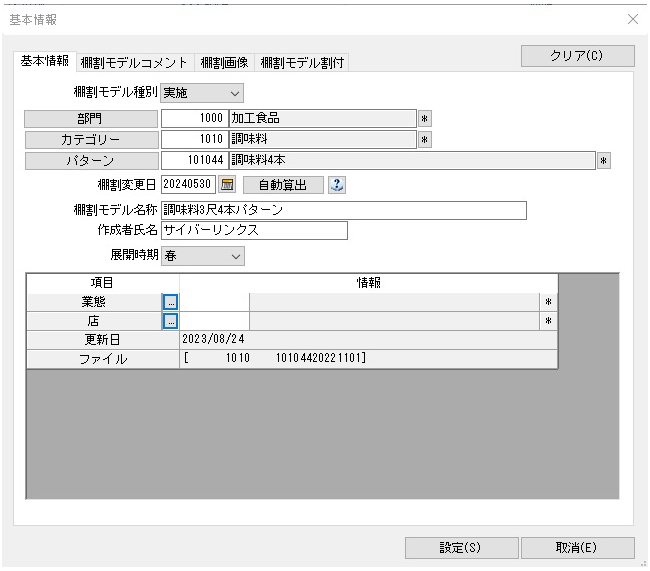
４－６　作成した棚割モデルを保存（作成した棚割モデルを内部に保存する）

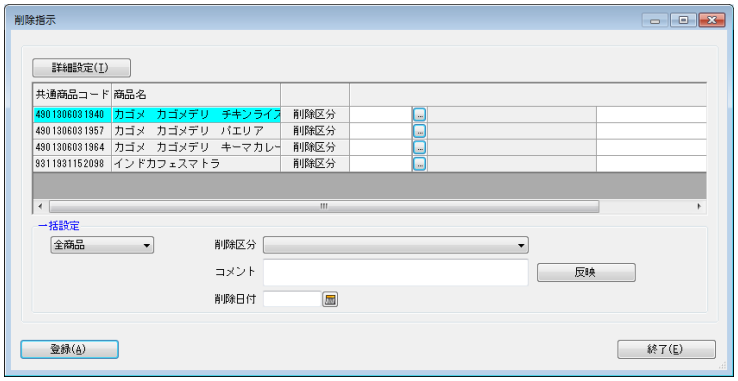
概要

作成した棚割モデルを内部モデルとして保存します。
開いている棚割モデルに変更内容を上書きする場合は［棚割操作］－［保存］－［上書き保存］を選択します。
別の棚割モデルとして保存する場合は［棚割操作］－［保存］－［名前を付けて保存］を選択します。

起動方法

操作方法





実施モデルとして保存する

1. ［棚割操作］－［保存］－［名前を付けて保存］を選択します。
2. 「基本情報」画面が表示します。
3. 「棚割モデル種別」から「実施」を選択します。実施モデルを編集中の場合は初期値が「実施」になっています。
4. ［カテゴリー］、［パターン］を指定します。（必須）
5. 「棚割変更日」を指定します。（必須）
   ［自動算出］をクリックすると、環境設定の設定内容を基に自動で日付が入力されます。
   （［？］ボタンを選択して POWERSCREEN への連携日程を確認することも可能です）
6. ［保存］をクリックします。
7. 環境設定の設定内容により、保存処理時、モデルを開いた時との差を確認し、削除商品が存在する場合は削除区分の設定画面を表示します。
8. 削除指示画面より商品単位で削除区分の設定ができます。
9. 削除区分を設定する場合には登録の実行前に環境設定［その他設定］により表示項目を設定できます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

POWERSCREEN への連携日程を確認する

[？]ボタンを選択すると POWERSCREEN 連携日程を確認できます。
POWERSCREEN 連携日程の画面では、本日日付を起点(出力日付)とした場合の
出力対象期間が表示されます。

出力対象期間に棚割変更日が含まれる場合には POWERSCREEN へ出力されるため、
保存する棚割がいつ POWERSCREEN に公開されるかを確認する際にご活用ください。
（出力対象期間の設定は［POWERSCREEN］タブー［自動出力設定］にて設定されています）

提案モデルとして保存する

1. ［棚割操作］ー［保存］ー［名前を付けて保存］を選択します。
2. 「基本情報」画面が表示します。
3. 「棚割モデル種別」から「提案」を選択します。
4. ［部門］や［カテゴリー］、［パターン］、作成日付、棚割モデル名称など必要に応じて設定します。
   必須項目はありません。
5. ［保存］をクリックします。

特記事項

- 実施モデルを新規で作成した場合、棚割変更日を本日または過去の日付にして保存できません。
- 既存の実施モデルを開いた場合、過去の日付に変更して上書き保存はできませんが、現状の棚割変更日が過去の日付でも上書き保存が可能です。未来の日付に変えると上書き保存ではなく、新たに別の棚割モデルとして保存されます。
- 未来の実施モデルの日付を変えて「上書き保存」をクリックした場合、既存の棚割モデルは上書きされず、新たに別のモデルとして保存されます。
- 実施モデルとして保存する際、未発売や発売中止の商品が存在すれば「未発売か発売中止商品を陳列しています。ハイライト・未発売/発売中止で確認できます。保存しますか？」の確認メッセージが表示されます。
  ［棚割操作］ー［オプション］より「棚割保存時に未発売/発売中止商品をチェックする」が無効の場合には確認メッセージは表示されません。
- 棚割変更日の[？]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。
- 環境設定で発売中止もしくは終売商品の陳列をできないように制限することができます。
  制限している場合、それらの商品が陳列されている状態で実施モデルを保存しようとするとエラーが表示されます。
  どの商品がエラーになっているかは［棚割操作］ー［ハイライト］より「未発売/発売中止」で色分けを行なうことで確認できます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

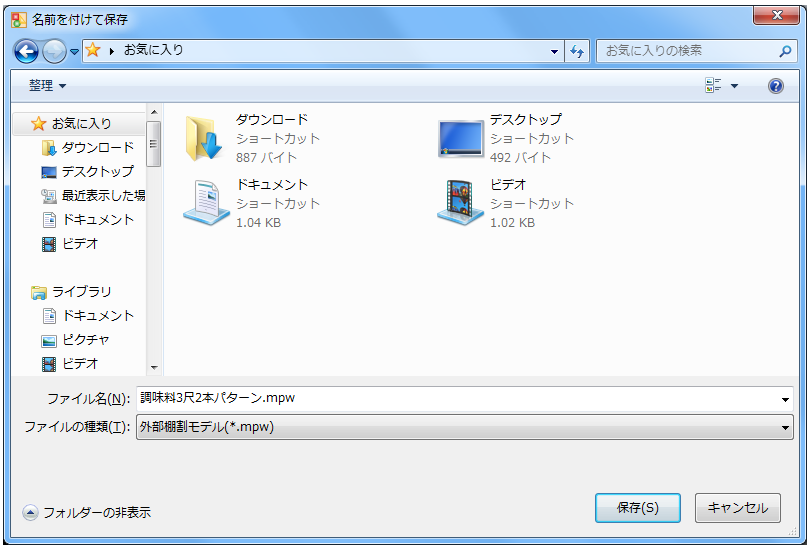
４－６　作成した棚割モデルを保存（作成した棚割モデルを外部に保存する）

概要

作成した棚割モデルを外部モデルとして、店ＰＯＷＥＲ外の任意の場所に保存します。
外部に保存した棚割モデルを取引先に渡すことで、取引先の棚ＰＯＷＥＲなどで取り込み、再現が可能です。

起動方法

操作方法



棚割モデルを外部に保存する

1. ［棚割操作］－［保存］－［外部モデル保存］を選択します。
2. 「名前を付けて保存」画面が表示します。
3. 外部モデルの出力先を指定します。
4. 「ファイルの種類」より棚割モデルのファイル形式を選択します。

外部棚割モデル（*.mpw）	店ＰＯＷＥＲ独自の棚割モデル形式です。
外部棚割モデル（*.tpw）	棚ＰＯＷＥＲ独自の棚割モデル形式です。
棚割互換形式(*.csv)	PTS よりも再現性が高く、他社棚割ソフトと互換性のある新規格の形式です。 PTS Ver3.0 に加えて、連結、陳列位置、フリー領域、仕切板の情報を持ちます。
PTS［棚割配置情報］Ver1(*.csv)	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式です。
PTS［棚割配置情報］Ver2(*.csv)	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式です。 在庫情報や什器情報を持っているため、Ver1.0 より再現性は高くなります。
PTS［棚割配置情報］Ver3(*.csv)	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式です。 Ver2.0 に加えて、別商品積上や手前挿入の情報を持つため再現性が更に高くなります。

5. ［保存］をクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

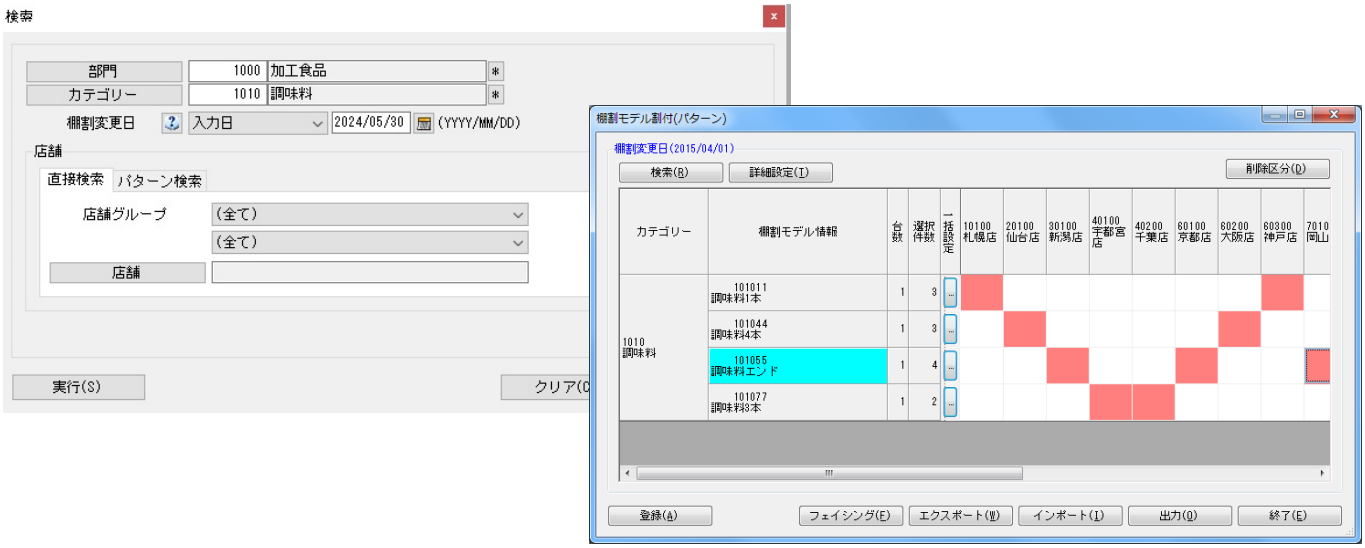
５－１　店舗で採用する棚割を設定する（パターンを基準に割付を行なう）

概要

作成した棚割モデルを店舗に割り付けます。この作業を行なうことで、店舗棚割が自動で作成され、店別の作業指示書の作成や、基幹システムへの陳列データ連携、店別の分析などが可能になります。
カテゴリーを軸にして複数店舗の割付作業を行ないます。

起動方法

操作方法



店ＰＯＷＥＲ上で割付を行なう

1. ［棚割操作］－［棚割モデル割付］－［棚割モデル割付（パターン）］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。
3. 「棚割変更日」を「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を８桁（yyyymmdd）で入力します。
   （カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
4. 割り付ける店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   割り付ける店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックします。
6. 棚割モデル一覧と店舗一覧が表示されます。
7. 棚割モデルと店舗が交差する箇所をダブルクリックして割付を行ないます。
8. 割付けを行ない赤くなった箇所を右クリックして「反転」を選択すると、棚割モデルを反転させることができます。
   反転したモデルは緑色で表示します。
9. ［登録］をクリックします。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

店ＰＯＷＥＲ上で割付をまとめて行なう

1. ［棚割操作］－［棚割モデル割付］－［棚割モデル割付（パターン）］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。
3. 「棚割変更日」を「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を 8 桁（yyyymmdd）で入力します。
   （カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
4. 割り付ける店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   割り付ける店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックします。
6. 棚割モデル一覧と店舗一覧が表示されます。
7. 該当パターン右横の［…］をクリックします。
8. 選択可能情報（店舗）より割り付けたい店舗を選択して［追加］をクリックします。
   該当情報選択（店舗）に表示している店舗の「反転」を有効にすると棚割パターンを反転して割り付けます。
   （エクスポートよりファイル出力して、コード欄に割付する店舗コードを入力後にインポートを実行しても設定できます）
9. ［設定］を選択して［登録］をクリックします。

Excel ファイルから割付を行なう

1. ［棚割操作］－［棚割モデル割付］－［棚割モデル割付（パターン）］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。
3. 「棚割変更日」を「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を 8 桁（yyyymmdd）で入力します。
   （カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
4. 割り付ける店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   割り付けるパターンを指定する場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックします。
6. 棚割モデル一覧と店舗一覧が表示されます。
7. ［エクスポート］をクリックし、任意の場所に Excel ファイルを保存します。
8. Excel ファイルに「棚割モデル割付（パターン）」画面の内容が記載されているため、Excel ファイル内で割付の内容を変更し保存します。
9. ［インポート］をクリックし、8 で保存した Excel ファイルを指定します。
10. Excel ファイルの編集内容が「棚割モデル割付（パターン）」画面に反映されます。
11. ［登録］をクリックします。

割り付けしている棚割モデルを編集する

1. 「棚割モデル割付（パターン）」画面で編集したい棚割モデルを選択します。
2. ［フェイシング］をクリックします。
3. 棚割編集画面が表示されるため、棚割を編集します。
4. 編集内容を上書き保存する場合は［棚割操作］－［保存］－［上書き保存］を選択します。
5. 「基本情報」画面を確認し［保存］をクリックします。
6. 確認メッセージが表示されます。［はい］を選択します。
   編集した棚割モデルを閉じると、確認メッセージが表示されます。
   ［はい］を選択すると、棚割モデル割付に戻ります。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 現状棚割や棚割変更日が本日以前の過去棚割の割付変更はできません。
- Excel ファイルから割付をするためにインポートを実行してエラーが発生した場合にはログ情報を表示することでエラーの原因を確認することが可能です。
- [環境設定]－[棚割操作]-「オプション設定」で「複数パターンの棚割モデル割付を許可する」を有効にすると、1 つのカテゴリーに対して複数の棚割モデルを割り付けることが可能です。
- 採用棚割の変更に伴い発生した削除商品の削除区分を設定することが可能です。
  削除区分を設定する場合には登録の実行前に［削除区分］より設定します。
- 部門を選択せずに検索をかけることも可能です。その場合は、検索に時間かかる可能性があります。
  部門/カテゴリー未設定時は［実行］時に、アラートメッセージが表示します。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

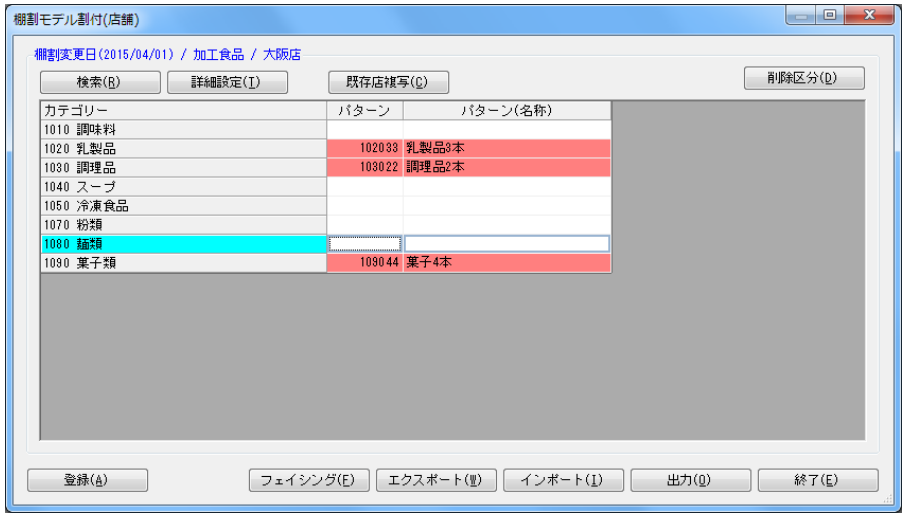
５－１　店舗で採用する棚割を設定する（店舗を基準に設定する）

概要

作成した棚割モデルを店舗に割り付けます。この作業を行なうことで、店舗棚割が自動で作成され、店別の作業指示書の作成や、基幹システムへの陳列データ連携、店別の分析などが可能になります。
店舗を軸にして複数のカテゴリーの割付作業を行ないます。新店や改装の際に、店舗の全カテゴリーをまとめて割り付けることができます。

起動方法

操作方法



店ＰＯＷＥＲ上で割付を行なう

1. ［棚割操作］－［棚割モデル割付］－［棚割モデル割付（店舗）］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。未選択の場合は全部門、全カテゴリーが対象になります。
3. 「棚割変更日」を「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を 8 桁（yyyymmdd）で入力します。
（カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
4. 「店舗」を選択します。表示させる店舗を絞り込む場合は「店舗グループ」を選択します。
5. ［実行］をクリックします。
6. カテゴリー名称の右側のセルをダブルクリックして棚割を割り付けます。
解除する場合は赤くなった箇所を再度ダブルクリックします。反転させる場合は右クリックします。
7. ［登録］をクリックします。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

既存店舗の割付を新店へコピーする

1. ［棚割操作］－［棚割モデル割付（店舗）］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。未選択の場合は全部門、全コーナーが対象になります。
3. 「棚割変更日」を「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を 8 桁（yyyymmdd）で入力します。
   （カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
4. 「店舗」から新店を選択します。表示させる店舗を絞り込む場合は「店舗グループ」を選択します。
5. ［実行］をクリックします。
6. 「棚割モデル割付（店舗）」画面の［既存店複写］をクリックします。
7. 「店舗」画面からコピーしたい既存店舗を指定して、［選択］をクリックします。
8. 「確認」画面が表示します。
   ［はい］をクリックすると、全てのパターンを既存店の割付で上書きします。
   ［いいえ］をクリックすると、割付がされていないパターンのみ割付が実行されます。
9. ［登録］をクリックします。

Excel ファイルから割付を行なう

1. ［棚割操作］－［棚割モデル割付］－［棚割モデル割付（店舗）］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。未選択の場合は全部門、全コーナーが対象になります。
3. 「棚割変更日」を「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を 8 桁（yyyymmdd）で入力します。
   （カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
4. 「店舗」を選択します。表示させる店舗を絞り込む場合は「店舗グループ」を選択します。
5. ［実行］をクリックします。
6. ［エクスポート］をクリックし、任意の場所に Excel ファイルを保存します。
7. Excel ファイルに「棚割モデル割付（店舗）」画面の内容が記載されているため、Excel ファイル内で割付の内容を変更し保存します。
8. ［インポート］をクリックし、7 で保存した Excel ファイルを指定します。
9. Excel ファイルの編集内容が「棚割モデル割付（店舗）」画面に反映されます。
10. ［登録］をクリックします。

割り付けしている棚割モデルを編集する

1. 「棚割モデル割付（店舗）」画面で編集したい棚割モデルを選択します。
2. ［フェイシング］をクリックします。
3. 棚割編集画面が表示されるため、棚割を編集します。
4. 編集内容を上書き保存する場合は［棚割操作］－［保存］－［上書き保存］を選択します。
5. 「基本情報」画面を確認し［保存］をクリックします。
6. 確認メッセージが表示すれば［はい］を選択します。
7. 編集した棚割モデルを閉じると、確認メッセージが表示されます。
   ［はい］を選択すると、棚割モデル割付に戻ります。

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 現状棚割や棚割変更日が本日以前の過去棚割の割付変更はできません。
- Excel ファイルから割付をするためにインポートを実行してエラーが発生した場合にはログ情報を表示することでエラーの原因を確認することが可能です。
- ［環境設定］－［棚割操作］-「オプション設定」で「複数パターンの棚割モデル割付を許可する」を有効にすると、1 つのカテゴリーに対して複数の棚割モデルを割り付けることが可能です。
- 採用棚割の変更に伴い発生した削除商品の削除区分を設定することが可能です。
  削除区分を設定する場合には登録の実行前に［削除区分］より設定します。

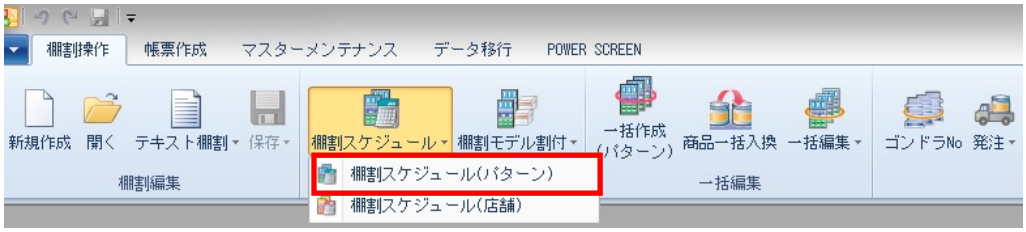
©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

５－２　棚割の変更スケジュールを確認・変更する

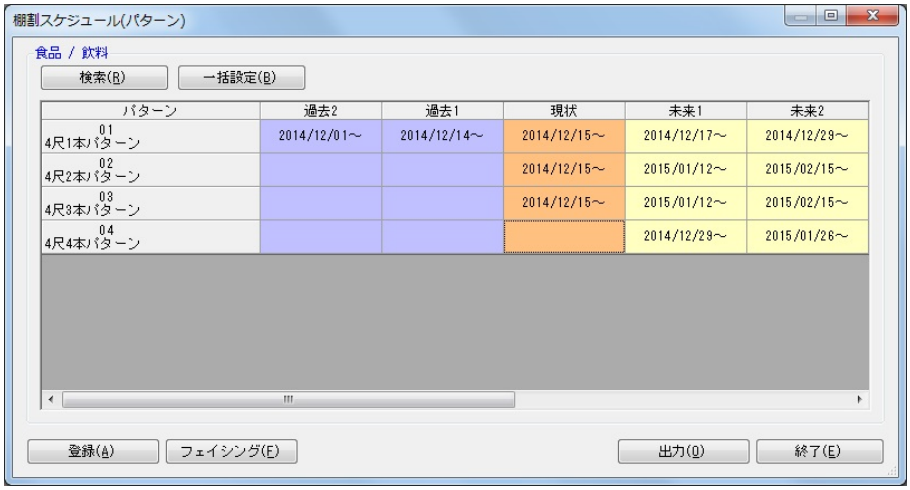
概要

各パターンに登録された実施モデルの棚割変更スケジュールをパターン単位の時系列で表示させて確認できます。
登録されている実施モデルの棚割変更日を修正する場合は、該当セルの棚割変更日に日付を手入力して登録します。

起動方法



操作方法



1. ［棚割操作］－［棚割スケジュール(パターン)］をクリックします。
2. 検索画面でスケジュールを確認したい「部門」や「カテゴリー」、「棚割変更日」を入力して［実行］をクリックします。
   (棚割変更日はカレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です)
3. 棚割スケジュールが表示されます。
4. 棚割変更日を変更したい該当パターンのセルでダブルクリックします。
5. 棚割変更日に修正する日付を入力します。
6. ［実行］をクリックします。

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 「過去」と「現状」の棚割変更日は変更することができません。
- ［一括設定］ボタンより棚割変更日をまとめて変更することができます。
- ［出力］ボタンより棚割スケジュールの検索結果を Excel や PDF に出力することができます。
- 「未来 1」は「未来 2」の日付を超えた棚割変更日に設定することはできません。
- 棚割が存在しない場合は棚割変更日が非表示の空白セルで表示します。
- フェイシング画面を表示させて陳列内容を確認・変更する場合は、該当の実施モデルのセルを選択して［フェイシング］をクリックします。フェイシング画面を表示させて棚割変更日を変更して保存すると未来棚割が一覧に追加されます。
  (棚割変更日に本日日付を含む過去の日付が入力されている場合は保存できません)

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

５－３　店舗の採用棚割スケジュールを確認・変更する

概要

各店舗で採用されている実施モデルの棚割スケジュールを店舗単位の時系列で表示させて確認できます。
複数店舗で同一の実施モデルを採用していても、各店舗によって展開時期が異なる場合に日付を変更して登録します。

起動方法

操作方法

スケジュールを変更する

1. ［棚割操作］－［棚割スケジュール(店舗)］をクリックします。
2. 検索画面でスケジュールを確認したい「部門」や「カテゴリー」、「棚割変更日」を入力して［実行］をクリックします。
   （棚割変更日はカレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
3. 店舗の棚割スケジュールが表示されます。
4. 棚割変更日を変更したい店舗のセルでダブルクリックします。
5. 棚割変更日に修正する日付を入力します。
6. ［実行］をクリックします。

採用パターンを確認する

1. 画面上部にある［割付状況］をクリックします。
2. 店舗の棚割スケジュール画面を表示した後、割付状況を確認したい店舗の日付をクリックします。
3. 店舗が採用しているパターンのコードと名称が一覧で表示されます。
   （反転で割付されている場合には反転項目に●印が表示します）

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 「過去」と「現状」の棚割変更日は変更することができません。
- 「未来 1」は「未来 2」の日付を超えた棚割変更日に設定することはできません。
- 店舗棚割を更新されている場合には日付の前に●印が表示します。
- 採用パターンの変更によって発生したスケジュールには、日付の前に★印が表示します。
- 店舗が採用している棚割パターンの割付を解除すると「～日付(2015/04/20)」と表示します。
- ［出力］ボタンより棚割スケジュールの検索結果を Excel や PDF に出力することができます。
- 棚割が存在しない場合は棚割変更日が空白セルで表示されます。
- フェイシング画面を表示させて陳列内容を確認したい場合は、該当のセルを選択して［フェイシング］をクリックします。

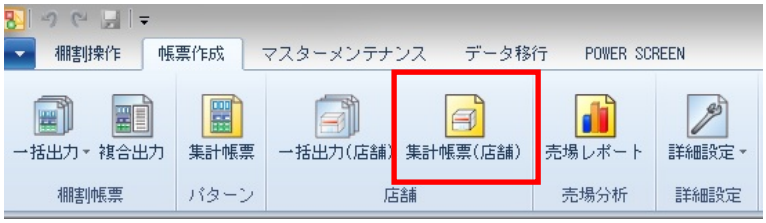
©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

５－４　店舗の採用棚割変更を一覧で確認する

概要

指定した時点の採用パターン割付情報をもとに、各店舗の採用パターンの変更を一覧で表示します。

起動方法



操作方法

1. ［帳票作成］－［集計帳票(店舗)］をクリックします。
2. ［基本］タブの一覧より「棚割変更一覧表」を選択して［選択］をクリックします。
3. 検索画面で「部門」や「カテゴリー」を設定します。
4. 「基準日」を入力して［実行］をクリックします。(基準日はカレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です)

直近比較	入力された日付時点の棚割モデル割付状況の直前の変更情報を出力します。
比較日指定	基準日と比較日を設定します。 基準日時点の棚割モデル割付状況と比較日時点の棚割モデル割付状況を比較して変更情報を出力します。

5. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力したい項目を選択して［追加］をクリック、またはダブルクリックします。
   Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して［↑］［↓］で変更します。
6. タイトル(メイン/サブ)を設定します。
7. 「出力先」から出力の形式を選択して［実行］をクリックします。
   出力時のプレビュー画面を確認する場合は［プレビュー］をクリックします。

特記事項

- 検索時、基準日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 出力時の細かな設定は［詳細設定］より設定できます。(詳細は仕様マニュアルをご確認ください)

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

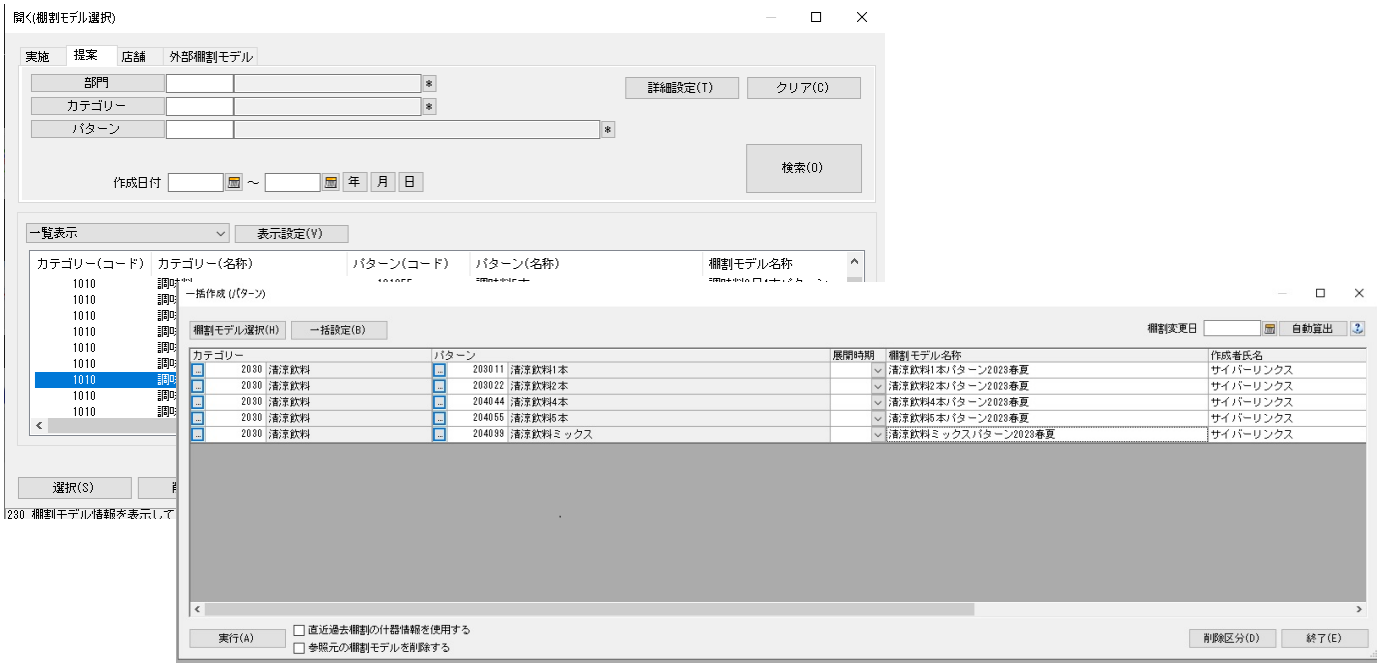
６－１　実施モデルの一括作成

概要

提案モデルや取引先からもらった外部モデルを元に、実施モデルを一括作成することができます。
また、過去に採用されていた実施モデルを元に次回(未来)の棚割を作成する場合にも使用できます。

起動方法

操作方法



作成対象を設定する

全パターンを対象に設定する、あるいは部門単位、カテゴリー（売場）単位での設定が可能です。

- 全パターンを対象にする‥［部門］［カテゴリー］を空白にします。
- 部門単位で設定する‥［部門］に対象部門を選択します。［カテゴリー］は空白にします。
- カテゴリー単位で設定する‥対象の［部門］と［カテゴリー］を選択します。

部門、カテゴリーを選択すると、配下のパターンコードが［パターン］内に表示されます。
カテゴリーコードが未設定の棚割モデルを選択している場合、カテゴリーコードを変更したい場合は、対象の［カテゴリー］を選択した後、［反映］ボタンを押下します。
作成対象に合わせて選択、設定してください。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

提案モデルを元に実施モデルを一括作成する

1. ［棚割操作］－［一括作成(パターン)］をクリックします。
2. ［棚割モデル選択］をクリックして、［提案］タブを選択します。
3. 「部門」や「カテゴリー」、「パターン」、「作成日付」などの検索条件を入力して［検索］をクリックします。
4. 検索結果より実施モデルとして保存したい棚割モデルのチェックボックスを有効にして［選択］をクリックします。
5. 「棚割変更日」、「パターン」を設定します。(必要に応じて「展開時期」や「作成者氏名」などの各項目の設定を変更します)
   ※部門単位、カテゴリー単位など対象の選択については、前ページの「作成対象を設定する」を参照してください。
6. 「削除区分」を設定します。(※詳細は下記「特記事項」を参照してください)
7. 過去に設定されている什器を使用する場合には「直近過去棚割の什器情報を使用する」を有効にします。
   (設定されている棚割変更日の直近過去の棚割モデルで設定された什器を使って実施モデルを作成する場合に使用します)
8. 一括作成後に参照元の提案モデルを削除する場合には、「参照元の棚割モデルを削除する」を有効にします。
9. ［実行］をクリックします。

取引先にもらった外部棚割モデルを元に実施モデルを一括作成する

1. ［棚割操作］－［一括作成(パターン)］をクリックします。
2. ［棚割モデル選択］をクリックして、［外部棚割モデル］タブを選択します。
3. フォルダーの設定でフォルダーアイコンをクリックして、取引先からもらったファイルが保存されているフォルダーを設定します。
4. ファイル形式を設定して［検索］をクリックします。

外部棚割モデル[*.MPW]	店ＰＯＷＥＲから出力された独自形式の棚割データファイル
外部棚割モデル[*.TPW]	棚ＰＯＷＥＲから出力された独自形式の棚割データファイル
棚割互換形式[*.csv]	棚割配置情報(PTS)よりも再現性が高く、他社ソフトとやり取りができる新規格
棚割配置情報(PTS)[*.csv]	他社ソフトとやり取り可能な形式で出力された共通フォーマット
陳列状況[*.xls]	店ＰＯＷＥＲや棚ＰＯＷＥＲから出力された陳列位置情報を持つ棚割データファイル
全ての外部モデル	上記全てのファイル形式を対象

5. 検索結果より実施モデルとして保存したい棚割モデルのチェックボックスを有効にして［選択］をクリックします。
6. 「棚割変更日」、「パターン」を設定します。(必要に応じて「展開時期」や「作成者氏名」などの各項目の設定を変更します)
   ※部門単位、カテゴリー単位など対象の選択については、前ページの「作成対象を設定する」を参照してください。
   ※カテゴリーコードが未設定の場合、［反映］ボタンを押下して選択したカテゴリーのコードを一括反映できます。
7. 「削除区分」を設定します。(※詳細は下記「特記事項」を参照してください)
8. 過去に設定されている什器を使用する場合には「直近過去棚割の什器情報を使用する」を有効にします。
   (設定されている棚割変更日の直近過去の棚割モデルで設定された什器を使って実施モデルを作成する場合に使用します)
9. 一括作成後に参照元の外部棚割モデルを削除する場合には、「参照元の棚割モデルを削除する」を有効にします。
10. ［実行］をクリックします。

過去の採用棚割を元に実施モデルを一括作成する

1. ［棚割操作］－［一括作成(パターン)］をクリックします。
2. ［棚割モデル選択］をクリックして、［実施］タブを選択します。
3. 「部門」や「カテゴリー」、「パターン」、「棚割世代」などの検索条件を入力して［検索］をクリックします。
4. 検索結果より実施モデルとして保存したい棚割モデルのチェックボックスを有効にして［選択］をクリックします。
5. 「棚割変更日」、「パターン」を設定します。
   (必要に応じて「展開時期」や「作成者氏名」などの各項目の設定を変更します)
   ※部門単位、カテゴリー単位など対象の選択については、前ページの「作成対象を設定する」を参照してください。
6. 過去に設定されている什器を使用する場合には「直近過去棚割の什器情報を使用する」を有効にします。
   (設定されている棚割変更日の直近過去の棚割モデルで設定された什器を使って実施モデルを作成する場合に使用します)
7. ［実行］をクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

POWERSCREEN への連携日程を確認する

[？]ボタンを選択すると POWERSCREEN 連携日程を確認できます。
POWERSCREEN 連携日程の画面では、本日日付を起点(出力日付)とした場合の
出力対象期間が表示されます。

出力対象期間に棚割変更日が含まれる場合には POWERSCREEN へ出力されるため、
保存する棚割がいつ POWERSCREEN に公開されるかを確認する際にご活用ください。
（出力対象期間の設定は［POWERSCREEN］タブー［自動出力設定］にて設定されています）

特記事項

- 実施モデルの一括作成時に［棚割モデル選択］より選択された棚割モデルは削除されません。
  (選択された棚割モデルは変換されず、保持されます)
- ［棚割モデル選択］で外部棚割モデルを選択した場合、未登録商品の陳列があれば、その商品の陳列在庫数量や実在庫数量は「1」で保存されます。
- 「カテゴリー」や「パターン」が未登録の場合は実行できません。
- 「カテゴリー」「棚割変更日」「パターン」が同一設定の棚割モデルが存在する場合は実行できません。
- 棚割変更日には本日以降の日付を入力する必要があります。
- 「直近過去棚割の什器情報を使用する」有効時は、以下の什器設定は処理できません。
  ・カセット什器が設置されている場合（直近過去（旧)、新規作成分（新）どちらにあっても処理できません）
  ・新規作成分（新）の台数、段数が多い場合
  ・什器種別、棚種別が新旧で異なる場合
- 削除区分について
  使用環境により、「削除区分」はドロップダウンリストあるいはボタンが表示されます。
  使用している削除区分の数、コメントや日付機能により、表示される画面が異なります。
- 環境設定で基幹整合性チェックを「チェックする」にしている場合、基幹システムと連携されていない商品が存在するとエラーが表示します。(基幹システムと連携されているパターンは正常に処理されます)
  どの商品がエラーになっているかの詳細はエラーログにて確認できます。
- 棚割変更日の[？]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。
- 環境設定で発売中止もしくは終売商品の陳列をできないように制限することができます。
  制限している場合、それらの商品が陳列されている状態で実施モデルを保存しようとするとエラーが表示されます。
  どの商品がエラーになっているかの詳細はエラーログにて確認できます。
- ［棚割モデル選択］より選択した棚割モデルに誤りがあった場合、一覧より該当箇所を右クリックして［選択解除］をクリックすると一覧より削除することが可能です。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

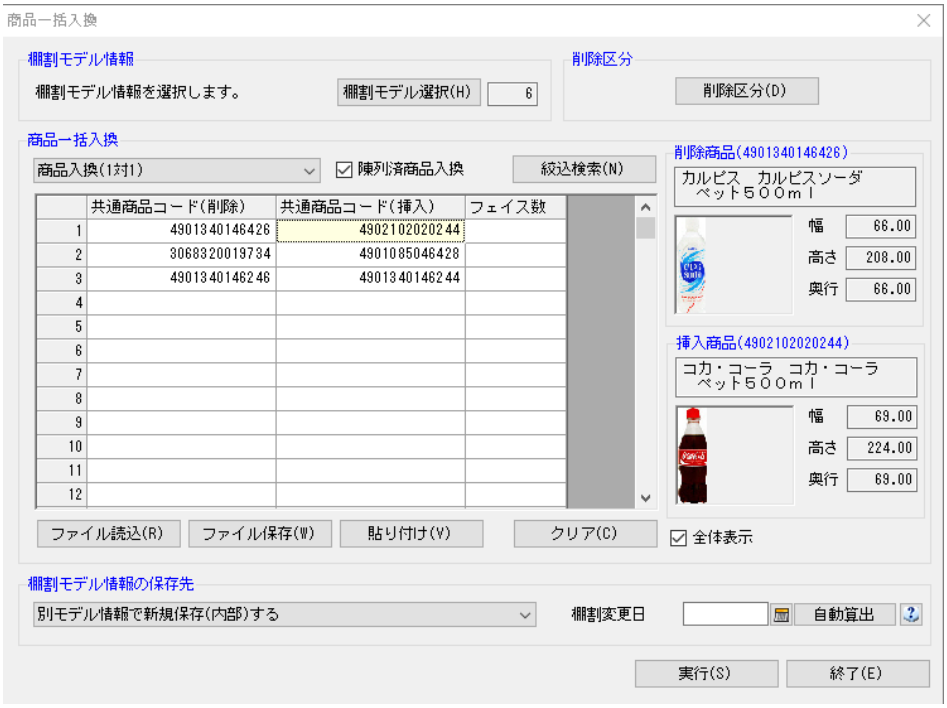
６－２　一括で商品を入れ換える

概要

棚割モデルに陳列されている商品をまとめて別商品に入れ換えることができます。
複数の棚割モデルを対象に終売商品と新商品を入れ換えることができるため、棚割編集時間を短縮できます。
また、商品の入れ換えだけでなくカットしたい商品を棚割モデルから一括削除することも可能です。

起動方法

操作方法



現状の棚割モデルを選択して、陳列変更後の未来棚割を作成する。作成済の未来棚割を選択して、陳列変更を反映する。
あるいは作成している未来棚割よりも更に未来の棚割を作成することができます。

1 つの商品を削除して、別の 1 商品を挿入する

1. ［棚割操作］－［陳列一括編集］－［商品一括入換］をクリックします。
2. ［棚割モデル選択］より対象となる棚割モデルを選択します。
3. 商品一括入換の項目で「商品入換(1 対 1)」を設定します。
4. 削除のセルに削除商品の共通商品コードを入力して、挿入のセルに挿入商品の共通商品コードを入力します。
   挿入する商品が既に陳列されていても商品入換を実行する場合には「陳列済商品入換」を有効にします。
   (Excel 等に入力されている JAN コードをコピーして、［貼り付け］より JAN コードを貼り付けることも可能です)

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

5. 棚割モデル情報の保存先を選択します。※選択した棚割モデルの種類、世代によって保存先の選択は異なります。

選択モデル情報に上書きする	商品入換後の陳列内容で上書き保存します
別モデル情報で新規保存(内部)する	商品入換後の陳列内容を別の棚割モデルとして保存します。 (「棚割モデル選択」で選択している棚割モデルの陳列内容は変更されません)

6. 別モデル情報で新規保存する際は、「棚割変更日」を設定します。
7. 必要時「削除区分」を設定します。
8. ［実行］をクリックします。
9. ログ情報の確認画面が表示され、［はい］をクリックすると商品入換の結果を確認できます。

未来棚割にも商品入換を反映させる

商品一括入換を実行する際に未来棚割が存在した場合には「選択棚割モデルよりも未来日付で陳列変更が存在します。未来の棚割モデルに今回の商品入換を行いますか？」という確認メッセージが表示されます。
確認メッセージで「はい」をクリックすると同一条件の入換処理を未来棚割に反映させることが可能です。

1 つの商品を削除して、別の 1 商品を挿入する（Excel を使用）

1. ［棚割モデル選択］より対象となる棚割モデルを選択します。
2. 商品一括入換の項目で「商品入換(1 対 1)」を設定します。
3. ［ファイル保存］を選択して Excel ファイルを出力します。
4. 出力した Excel ファイルを開き、A 列に削除商品の共通商品コードを入力して、
   B 列に挿入商品の共通商品コードを入力してから上書き保存します。
5. ［ファイル読込］を選択して編集したファイルを選択します。
6. 挿入する商品が既に陳列されていても商品入換を実行する場合には「陳列済商品入換」を有効にします。
7. 棚割モデル情報の保存先を選択します。
8. ［実行］をクリックします。
9. ログ情報の確認画面が表示され、［はい］をクリックすると商品入換の結果を確認できます。

1 つの商品を削除して、複数の別商品を挿入する

1. ［棚割モデル選択］より対象となる棚割モデルを選択します。
2. 商品一括入換の項目で「商品入換(1 対 n)」を設定します。
3. 削除商品の共通商品コードを 1 商品分だけ削除のセルに入力します。
4. 挿入商品の共通商品コードを挿入商品の数だけ挿入のセルに入力します。
5. 棚割モデル情報の保存先を選択します。
6. 挿入する商品が既に陳列されていても商品入換を実行する場合には「陳列済商品入換」を有効にします
7. ［実行］をクリックします。
8. ログ情報の確認画面が表示され、［はい］をクリックすると商品入換の結果を確認できます。

商品をまとめて削除する

1. ［棚割モデル選択］より対象となる棚割モデルを選択します。
2. 商品一括入換の項目で「陳列商品一括削除」を設定します。
3. 削除商品の共通商品コードを削除のセルに入力します。
4. 棚割モデル情報の保存先を選択します。
5. ［実行］をクリックします。
6. ログ情報の確認画面が表示され、［はい］をクリックすると商品削除の結果を確認できます。

※陳列商品一括削除を実行することで、棚割モデル内の商品がすべて削除されてしまう場合は、ログ情報に「陳列商品が全て無くなってしまうため削除できませんでした。」と記載し、処理しません。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

POWERSCREEN への連携日程を確認する

[？]ボタンを選択すると POWERSCREEN 連携日程を確認できます。
POWERSCREEN 連携日程の画面では、本日日付を起点(出力日付)とした場合の
出力対象期間が表示されます。

出力対象期間に棚割変更日が含まれる場合には POWERSCREEN へ出力されるため、
保存する棚割がいつ POWERSCREEN に公開されるかを確認する際にご活用ください。
（出力対象期間の設定は［POWERSCREEN］タブー［自動出力設定］にて設定されています）

特記事項

- 店ＰＯＷＥＲの商品情報に登録されていない商品は挿入することはできません。
- ［絞込検索］より削除商品や挿入商品を検索することができます。
- フェイス数に数値を入力すると、挿入する商品のフェイス数を指定できます。
  （フェイス数が空白の場合は削除商品と同じフェイス数で商品が挿入されます）
- 「削除区分」の設定は必須ではありません。
  使用環境により、「削除区分」はドロップダウンリストあるいはボタンが表示されます。
  使用している削除区分の数、コメントや日付機能により、表示される画面が異なります。
- 棚割世代が「現状棚割」や「入力日の直近過去」で実施モデルを選択した場合は、棚割モデル情報の保存先は「別モデル情報で新規保存(内部)する」しか選択できません。
- 棚割世代が「未来棚割」の実施モデルを選択した場合は、棚割モデル情報の保存先は「選択モデル情報に上書き保存する」しか選択できません。
- 棚割モデル選択で［店舗］タブより棚割モデルを選択した場合は、必ず棚割世代が「未来棚割」でなければ選択できません。
- 棚割モデル選択で実施モデルを選択されており、共通商品コード(挿入)で発売中止商品が指定されている場合には「発売中止の商品ですがよろしいですか？」の確認画面が表示されます。
- 使用環境により、パターン棚割を優先するか、店舗棚割を保持して入換をするかが異なります。

パターン棚割	棚割モデル割付されている実施モデルを指します。 （「棚割モデル割付」とは実施モデルを店舗に割り付ける設定です）
店舗棚割	店舗独自に陳列内容を変更、保存した棚割を指します。

- ATW（クラウド）版店ＰＯＷＥＲで、「棚割リンク」をご使用の場合は「6-3 一括で商品を入れ換える（棚割リンク使用）」を参照してください。
- 棚割変更日の[？]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。
- 環境設定で発売中止もしくは終売商品の陳列をできないように制限することができます。
  制限している場合、それらの商品を挿入して実施モデルで保存しようとするとエラーが表示されます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

６－３　一括で商品を入れ換える(棚割リンク使用)

概要

棚割リンクでアップロードされた商品改廃リストを元に、棚割モデルに陳列されている商品をまとめて別商品に入れ換えることができます。複数の棚割モデルを対象に終売商品と新商品を入れ換えることができるため、棚割編集時間を短縮できます。

※ ATW サービス（クラウド）版を使用の場合のみ表示されます。

※「棚割リンク」を使用していない場合は「6-2 一括で商品を入れ換える」を参照してください。

起動方法

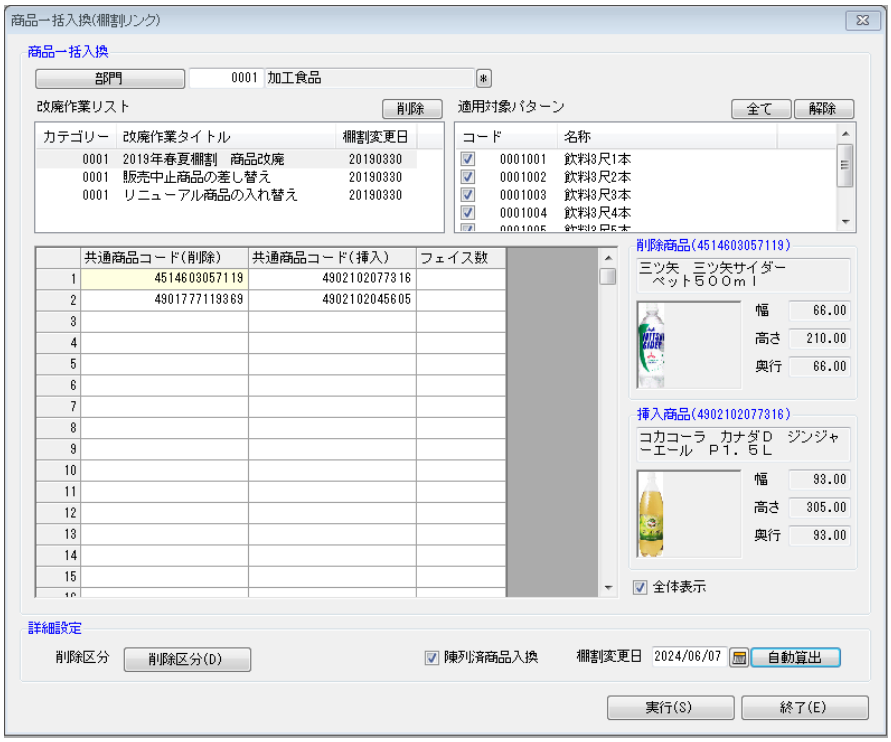
操作方法

作業する棚割変更日 直前の棚割モデルを自動選択し、陳列変更後の未来棚割を作成します。

作業する棚割変更日よりも更に未来の棚割が存在した場合は、未来の棚割にも陳列変更を自動反映します。

商品改廃リストを使用して商品を入れ換える

1. ［棚割操作］－［商品一括入換（棚割リンク）］をクリックします。



2. 対象の［部門］を選択します。
3. 改廃作業リスト一覧内に、棚割リンクよりアップロードされたリスト一覧が表示されています。
   リスト一覧より、作業対象となるタイトルをクリックして選択します。削除、挿入候補商品が自動で表示されます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

4. 適用対象パターンを選択します。
5. 削除商品、挿入商品に変更がある場合は、共通商品コード（JAN コード）をセル内に入力します。
   挿入する商品が既に陳列されていても商品入換を実行する場合には「陳列済商品入換」を有効にします。
6. 「棚割変更日」を設定します。改廃作業リスト時で設定した棚割変更日が自動で設定されています。
   変更する場合は、直接入力、カレンダーより選択等により設定します。
7. 必要時「削除区分」を設定します。
8. ［実行］をクリックします。
9. ログ情報の確認画面が表示され、［はい］をクリックすると商品入換の結果を確認できます。
   処理実行された改廃作業リストは、一覧より削除されます。

未来棚割にも商品入換を反映させる

商品一括入換を実行する際に、指定した棚割変更日よりも未来棚割が存在した場合には、同一条件の入換処理を自動で未来棚割に反映します。

不要な改廃作業リストを削除する

採用しなかった不要な改廃作業リストは、一覧よりクリックして選択し画面右上［削除］より削除できます。

特記事項

- 店ＰＯＷＥＲの商品情報に登録されていない商品は挿入することはできません。
- フェイス数に数値を入力すると、挿入する商品のフェイス数を指定できます。
  （フェイス数が空白の場合は削除商品と同じフェイス数で商品が挿入されます）
- 「削除区分」の設定は必須ではありません。
  使用環境により、「削除区分」はドロップダウンリストあるいはボタンが表示されます。
  使用している削除区分の数、コメントや日付機能により、表示される画面が異なります。
- 共通商品コード(挿入)で発売中止商品が指定されている場合には「発売中止の商品ですがよろしいですか？」の確認画面が表示されます。
- 使用環境により、パターン棚割を優先するか、店舗棚割を保持して入換をするかが異なります。

パターン棚割	棚割モデル割付されている実施モデルを指します。 （「棚割モデル割付」とは実施モデルを店舗に割り付ける設定です）
店舗棚割	店舗独自に陳列内容を変更、保存した棚割を指します。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

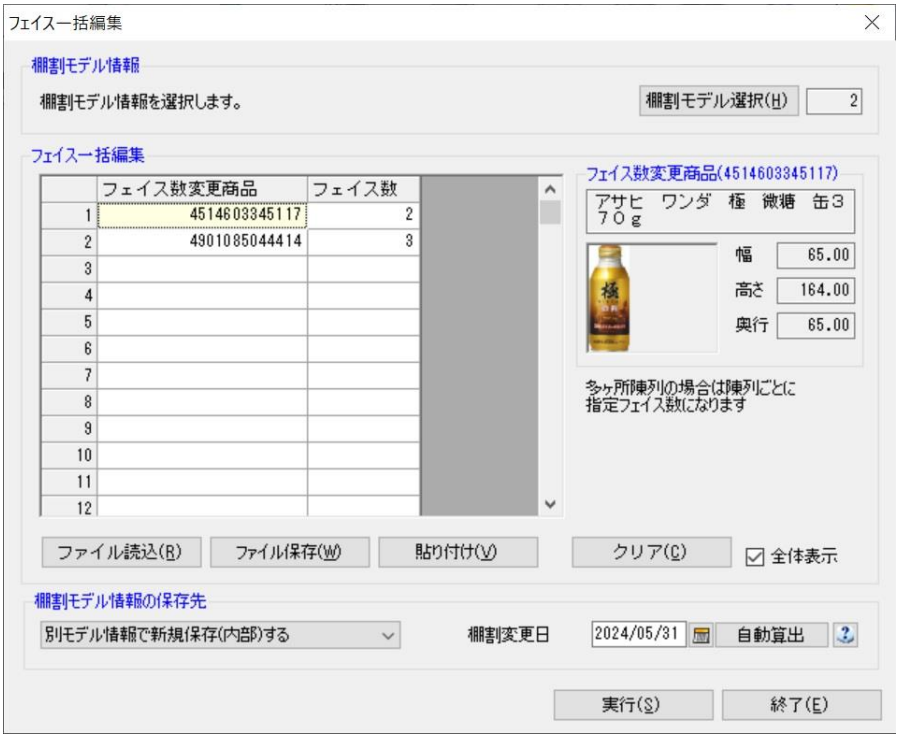
６－４　一括で商品のフェイス数を変更する

概要

棚割モデルに陳列されている商品のフェイス数をまとめて変更することができます。
複数の棚割モデルを対象にフェイス数を変更したい商品を選択し、まとめて設定できるため棚割編集時間を短縮できます。

起動方法

操作方法



現状の棚割モデルを選択して、フェイス数変更後の未来棚割を作成する。作成済の未来棚割を選択して、フェイス数変更を反映する。
あるいは作成している未来棚割よりも更に未来の棚割を作成することができます。

商品を指定して、フェイス数を変更する

1. ［棚割操作］－［陳列一括編集］-［フェイス一括編集］をクリックします。
2. ［棚割モデル選択］より対象となる棚割モデルを選択します。
3. フェイス数変更商品のセルに商品の共通商品コードを入力して、フェイス数のセルに変更したいフェイス数を入力します。
   （Excel 等に入力されている JAN コードをコピーして、［貼り付け］より JAN コードを貼り付けることも可能です）
4. 棚割モデル情報の保存先を選択します。※選択した棚割モデルの種類、世代によって保存先の選択は異なります。

選択モデル情報に上書きする	フェイス数変更後の陳列内容で上書き保存します

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

別モデル情報で新規保存(内部)する	フェイス数変更後の陳列内容を別の棚割モデルとして保存します。 (「棚割モデル選択」で選択している棚割モデルの陳列内容は変更されません)

5. 別モデル情報で新規保存する際は、「棚割変更日」を設定します。
6. ［実行］をクリックします。
7. ログ情報の確認画面が表示され、［はい］をクリックするとフェイス変更の結果を確認できます。

未来棚割にもフェイス数の変更を反映させる

フェイス一括編集を実行する際に未来棚割が存在した場合には「選択棚割モデルよりも未来日付で陳列変更が存在します。未来の棚割モデルに今回の商品入換を行いますか？」という確認メッセージが表示されます。
確認メッセージで「はい」をクリックすると同一条件の変更処理を未来棚割に反映させることが可能です。

商品を指定して、フェイス数を変更する（Excel を使用）

1. ［棚割モデル選択］より対象となる棚割モデルを選択します。
2. ［ファイル保存］を選択して Excel ファイルを出力します。
3. 出力した Excel ファイルを開き、A 列にフェイス数の変更をしたい商品の共通商品コードを入力して、
   B 列にフェイス数を入力してから上書き保存します。
4. ［ファイル読込］を選択して編集したファイルを選択します。
5. 棚割モデル情報の保存先を選択します。
6. ［実行］をクリックします。
7. ログ情報の確認画面が表示され、［はい］をクリックするとフェイス変更の結果を確認できます。

POWERSCREEN への連携日程を確認する

［?］ボタンを選択すると POWERSCREEN 連携日程を確認できます。
POWERSCREEN 連携日程の画面では、本日日付を起点(出力日付)とした場合の
出力対象期間が表示されます。

出力対象期間に棚割変更日が含まれる場合には POWERSCREEN へ出力されるため、
保存する棚割がいつ POWERSCREEN に公開されるかを確認する際にご活用ください。
（出力対象期間の設定は［POWERSCREEN］タブー［自動出力設定］にて設定されています）

特記事項

- 店ＰＯＷＥＲの商品情報に登録されていない商品はフェイス数の変更はできません。
- フェイス数で入力できる最大値は「9」までです。それ以上の数値を指定した場合は、実行時にエラーが出ます。
- フェイス数を設定した後に、棚割モデル上で設定した圧縮率を超える場合は、棚割モデルを開く際にこぼれます。
- 入力した商品が多ヶ所に陳列されている場合は、それぞれの場所で指定したフェイス数に変更されます。
- 棚割世代が「現状棚割」や「入力日の直近過去」で実施モデルを選択した場合は、棚割モデル情報の保存先は「別モデル情報で新規保存(内部)する」しか選択できません。
- 棚割世代が「未来棚割」の実施モデルを選択した場合は、棚割モデル情報の保存先は「選択モデル情報に上書き保存する」

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

しか選択できません。

- 棚割モデル選択で［店舗］タブより棚割モデルを選択した場合は、必ず棚割世代が「未来棚割」でなければ選択できません。
- 使用環境により、パターン棚割を優先するか、店舗棚割を保持して入換をするかが異なります。

パターン棚割	棚割モデル割付されている実施モデルを指します。 （「棚割モデル割付」とは実施モデルを店舗に割り付ける設定です）
店舗棚割	店舗独自に陳列内容を変更、保存した棚割を指します。

- 棚割変更日の[？]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。
- 環境設定で発売中止もしくは終売商品の陳列をできないように制限することができます。
  制限している場合、それらの商品を挿入して実施モデルで保存しようとするとエラーが表示されます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－１　帳票とは

作成した棚割モデルを使用して、簡単な操作で作業指示書を Excel や PDF で出力することができます。
出力する作業指示書を店ＰＯＷＥＲでは帳票と呼んでおり、作成した棚割モデルの図や陳列商品の一覧表、カット商品のリストなどの出力が可能です。

帳票の作成方法

棚割モデルを開いている場合と、棚割モデルを開いていない場合で選択できる機能が変化します。
棚割を開いている場合は、開いている棚割モデルを対象に帳票を出力します。棚割モデルを閉じている場合には複数棚割を対象に出力します。

◇帳票作成タブ-棚割モデル選択時

◇帳票作成タブ-棚割モデル未選択時

帳票の種類

・棚割図表系
商品情報や商品画像を元に陳列の状態を表します。
（棚割図/棚割表/棚割図表）

・明細一覧系
棚割の商品や什器、POP などの情報を一覧化します。
（陳列商品一覧表/使用什器一覧表/陳列 POP 一覧表/仮置商品一覧表）

・追加変更系
新旧棚割、または任意の 2 つの棚割を比較して、陳列が変化している部分を表します。
（追加変更一覧表/追加変更棚割図/追加変更棚割表/追加変更棚割図表/追加変更プライスカード）

・分析帳票系
棚割内の商品情報や売上情報を集計し、各種分析結果を表します。
（商品集計表/商品分類集計表/クロス集計表/クロス ABC 集計表/ゾーニング表）

・専用帳票系
各種業務に使用する特殊な帳票を作成します。
（オーダーブック/商品カタログ/プライスカード）

・集計帳票系
複数の棚割の情報をまとめて帳票化します。
星取表では各棚割、店舗における商品の採用状況を一覧化します。
（星取表/商品カタログ/プライスカード）

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

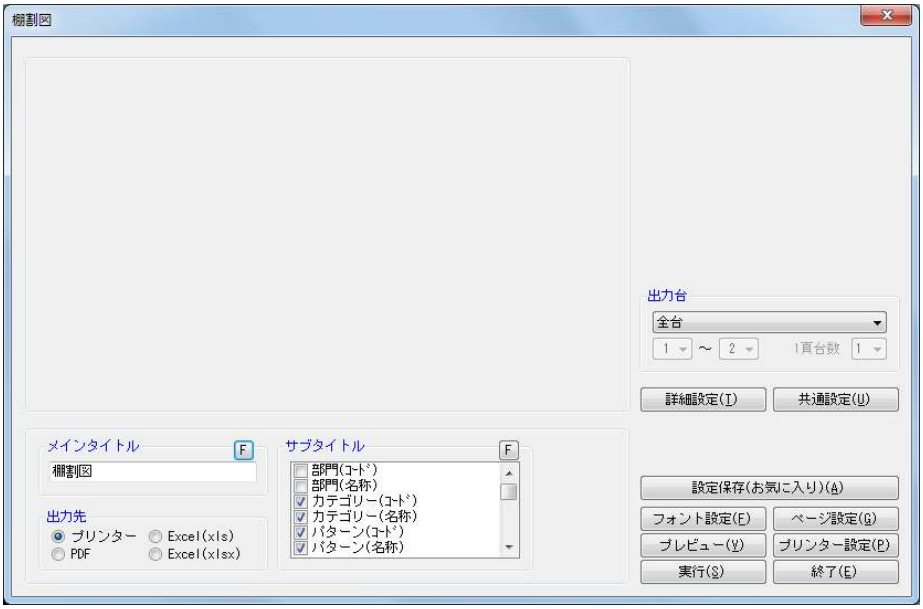
７－２　開いている棚割モデルの帳票を作成する（棚割図）

概要

開いている棚割モデルをもとに、商品画像を使用して実際の棚割を写真で撮影したような図を作成します。
全台で出力するか台別で出力するかを設定してExcelやPDFに出力することができます。

起動方法

操作方法



1. ［棚割操作］－［開く］より該当の棚割モデルを開きます。
2. ［帳票作成］－［棚割帳票］をクリックします。
3. 「棚割帳票」画面の［基本］タブより「棚割図」を選択して、［選択］をクリックします。
4. 出力台とタイトル（メイン/サブ）を設定します。
5. 「出力先」から出力の形式を選択して［実行］をクリックします。
   出力時のプレビュー画面を確認する場合は［プレビュー］をクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、［はい］を選択すると設定内容を保存します。
- ［詳細設定］より出力時の細かな設定ができます。

Excel 出力時の余白を減らす	［棚割図］タブのオプション設定にある「フェイシングの左右の余白を加味する」を無効にします
棚のサイズを出力する	［棚割図］タブの棚サイズ出力の各項目を有効にします
図形配置の編集内容を反映する	［棚割図］タブのオプション設定にある「図形配置画像を優先する」を有効にします
メーカーや品種ごとに色をつける	色分設定］タブより色分項目を設定します
商品上に売上情報を表示する	［棚割図］タブのオプション設定にある「商品上に売上情報を表示する」を、有効にします

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

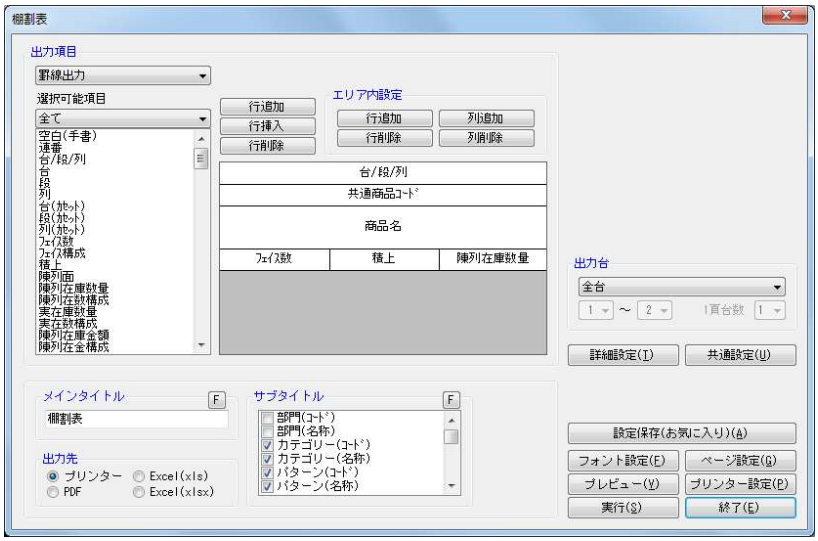
７－２　開いている棚割モデルの帳票を作成する（棚割表）

概要

開いている棚割モデルをもとに、陳列商品の JAN コードや商品名、フェイス数などの項目を文字で表示させた表を作成します。表に表示させる項目やレイアウトは自由に設定することができます。

起動方法

操作方法



1. ［棚割操作］－［開く］より該当の棚割モデルを開きます。
2. ［帳票作成］－［棚割帳票］の［基本］タブより「棚割表」を選択して、［選択］をクリックします。
3. レイアウトを設定します。レイアウト上で設定したい行または列を選択し、選択可能項目から項目を選択します。

行追加	最終行に空白行を追加します
行挿入	選択行の上に空白行を追加します
行削除	選択行を削除します

エリア内設定

行追加	1 行分の高さを追加します
行削除	複数行の高さを 1 行ずつ削除します（レイアウト上の行自体は削除されません）
列追加	選択行内に列を追加して分割します（最大 3 列までの分割が可能です）
列削除	複数列を 1 列ずつ削除します

4. 出力台とタイトル（メイン/サブ）を設定します。
5. 「出力先」から出力の形式を選択して［実行］をクリックします。
（出力時のプレビュー画面を確認する場合は［プレビュー］をクリックします）

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、［はい］を選択すると設定内容を保存します。
- ［詳細設定］より出力時の細かな設定ができます。

Excel 出力時のサイズを調整する	［棚割表］タブの「Excel 設定」の使用列数で調整します
棚のサイズを出力する	［棚割表］タブの棚サイズ出力の各項目を有効にします
メーカーや品種ごとに色をつける	［色分設定］より色分項目を設定します
別商品積上の商品を棚割表に表示する	［棚割表］タブのオプション設定「別商品積上商品を出力する」を有効にします
手前挿入している商品を棚割表に表示する	［棚割表］タブのオプション設定「手前挿入商品を出力する」を有効にします

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

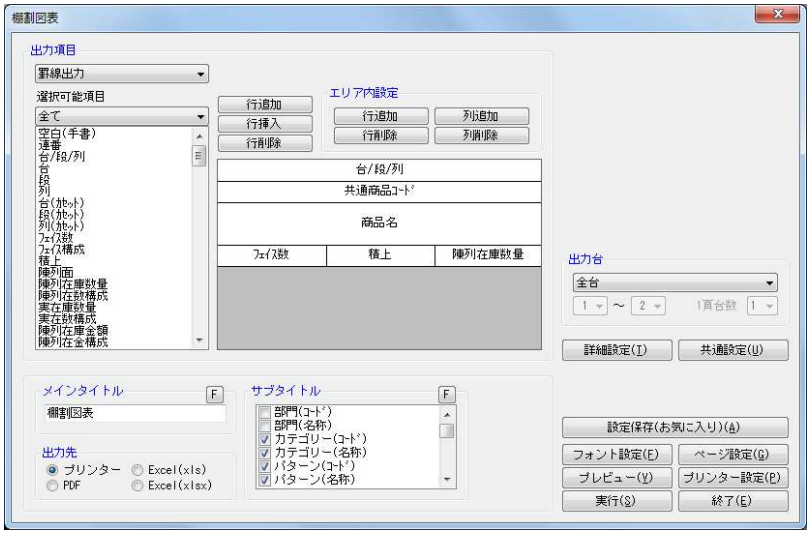
７－２　開いている棚割モデルの帳票を作成する（棚割図表）

概要

開いている棚割モデルをもとに、商品画像を使用した棚割図と陳列商品の JAN コードや商品名など文字で表示させた棚割表を同時に作成します。棚割図と棚割表はそれぞれ個別に設定でき、表示する位置も変更可能です。

起動方法

操作方法



1. ［棚割操作］－［開く］より該当の棚割モデルを開きます。
2. ［帳票作成］－［棚割帳票］の［基本］タブより「棚割表」を選択して、［選択］をクリックします。
3. 棚割表のレイアウトを設定します。レイアウト上で設定したい行または列を選択し、選択可能項目から項目を選択します。

行追加	最終行に空白行を追加します
行挿入	選択行の上に空白行を追加します
行削除	選択行を削除します

エリア内設定

行追加	1 行分の高さを追加します
行削除	複数行の高さを 1 行ずつ削除します（レイアウト上の行自体は削除されません）
列追加	選択行内に列を追加して分割します（最大 3 列までの分割が可能です）
列削除	複数列を 1 列ずつ削除します

4. 出力台とタイトル（メイン/サブ）を設定します。
5. 「出力先」から出力の形式を選択して［実行］をクリックします。
   （出力時のプレビュー画面を確認する場合は［プレビュー］をクリックします）

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、［はい］を選択すると設定内容を保存します。
- ［詳細設定］より出力時の細かな設定ができます。

棚割図と表の位置を変更する	［棚割図］タブの「図表位置」で設定します
棚割図の商品上に売上情報を表示する	［棚割図］タブのオプション設定にある「商品上に売上情報を表示する」を有効にします
Excel 出力時の棚割図のサイズを調整する	［棚割図］タブの「Excel 設定」の使用行数・列数で調整します
Excel 出力時の棚割表のサイズを調整する	［棚割表］タブの「Excel 設定」の使用列数で調整します
棚のサイズを出力する	［棚割表］タブの棚サイズ出力の各項目を有効にします
別商品積上の商品を棚割表に表示する	［棚割表］タブのオプション設定にある「別商品積上商品を出力する」を有効にします
手前挿入している商品を棚割表に表示する	［棚割表］タブのオプション設定「手前挿入商品を出力する」を有効にします
メーカーや品種ごとに色をつける	［色分設定］より色分項目を設定します
色分対象の帳票を選択する	［色分設定］の色分対象情報にて色分けしたい帳票を有効にします

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－２　開いている棚割モデルの帳票を作成する（陳列商品一覧表）

概要

開いている棚割モデルをもとに、陳列商品の一覧を作成します。JAN コード、商品名などの詳細情報の他に、商品画像やバーコードなども出力可能です。

起動方法

操作方法

1. ［棚割操作］－［開く］より該当の棚割モデルを開きます。
2. ［帳票作成］－［棚割帳票］をクリックします。
3. 棚割帳票画面の［基本］タブより「陳列商品一覧表」を選択して、［選択］をクリックします。
4. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力したい項目を選択して［追加］をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して［↑］［↓］で変更します。
5. 出力台とタイトル（メイン/サブ）を設定します。
6. 「出力先」から出力の形式を選択して［実行］をクリックします。
   出力時のプレビュー画面を確認する場合は［プレビュー］をクリックします。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、［はい］を選択すると設定内容を保存します。
- ［詳細設定］より出力時の細かな設定ができます。

商品をフェイス単位で表示したい	「オプション設定」の「フェイス単位で明細出力する」を有効にします
多ヶ所に陳列している商品を別々に出力する	「オプション設定」の「複数個所に陳列している商品を別々に明細出力する」を有効にします。
Excel 出力時の棚割表のサイズを調整する	［棚割表］タブの「Excel 設定」の使用列数で調整します
出力する商品のソート基準を変更する	「明細出力順」にてプルダウンメニューから選択します。最大 2 つまで設定できます。

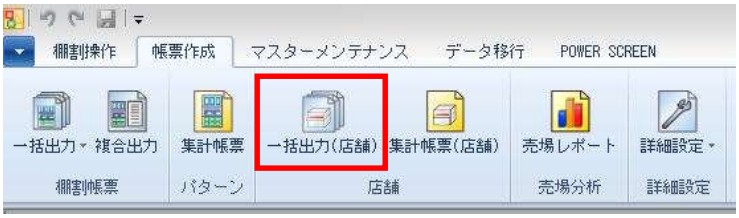
© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－３　店舗への作業指示書を作成する（変更商品を確認する）

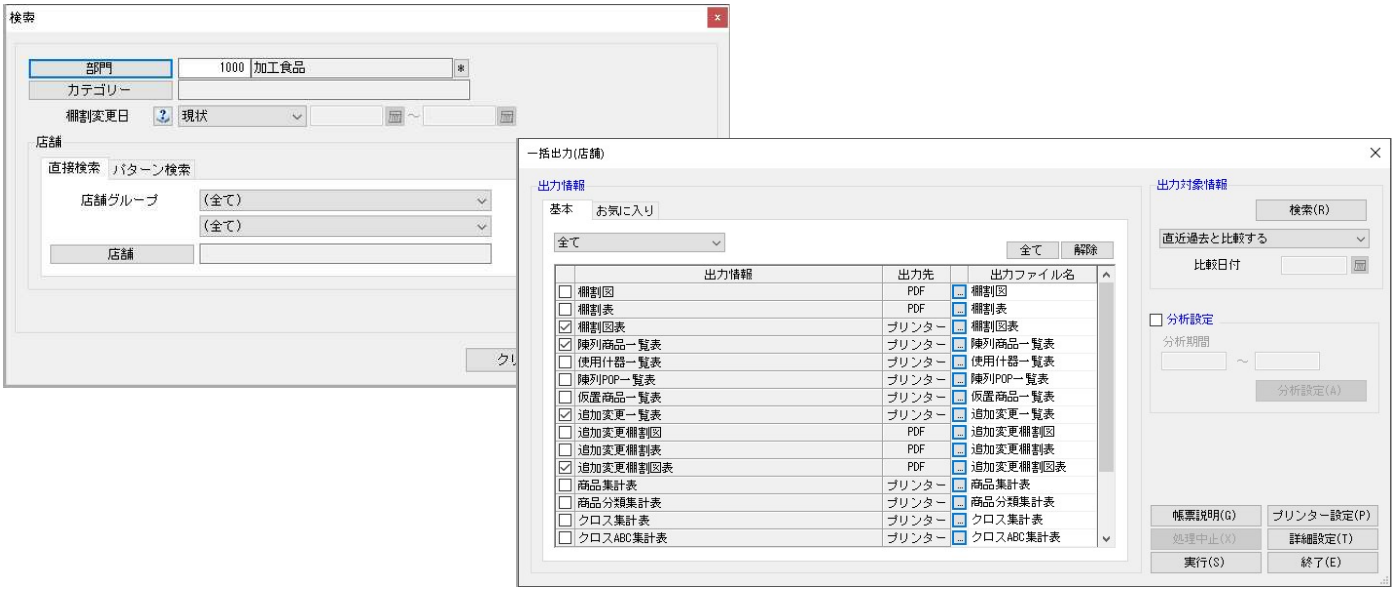
概要

一括出力（店舗）の機能を使用して各店舗へ作業指示書を作成することができます。
１店舗の全カテゴリー（売場）を指定したり、全店舗の１カテゴリー（売場）を指定しての一括作成が可能です。
追加商品やカット商品が記載された帳票の作成時には、各店の新旧棚割が自動的に比較されて正確な作業指示書を作成できます。

起動方法



操作方法



出力対象情報を設定する

1. ［帳票作成］－［一括出力（店舗）］を選択します。
2. 検索画面で出力対象となる「部門」や「カテゴリー」、「棚割変更日」、「店舗」を選択します。
3. どの時点での帳票を作成するかを棚割変更日で設定します。（棚割変更日のヘルプボタンより詳しい説明が確認できます。）

現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします
範囲設定	設定範囲内の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近の情報を対象にします

4. 追加変更系の帳票を出力する場合には出力対象情報よりいつ時点の棚割と比較するのかを指定します。

直近過去と比較する	上記手順 3 で指定した棚割の直近過去の情報を比較対象にします
日付指定で指定する	比較日付で指定された時点の棚割を比較対象にします

5. 出力情報の［基本］タブより出力したい帳票のチェックボックスを有効にします。
（追加変更一覧表と追加変更棚割図表を出力したい場合は、それぞれの項目にチェックします）

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

帳票の出力設定を行なう

～追加変更一覧表の場合～

1. 「追加変更一覧表」の出力先横にあるセレクトボタンをクリックして、設定画面を表示します。
2. 出力項目の設定を行います。
   選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします。（もしくは出力したい項目をダブルクリックします）
3. 追加変更一覧表では［削除区分］情報を選択可能項目の中から選択できます。
4. 出力項目の表示順序を設定します。
   （表示順を変更したい項目を選択して［↑］もしくは［↓］をクリックして調整します）
5. ［詳細設定］より「変更項目に削除区分を出力する」を有効にすると、削除区分も合わせて出力できます。
6. 出力先から出力時の形式を選択して［終了］をクリックします。
7. 「設定内容を保存しますか？」のメッセージが表示すれば［はい］を選択します。

～追加変更棚割図表の場合～

1. 「追加変更棚割図表」の出力先横にあるセレクトボタンをクリックして、設定画面を表示します。
2. レイアウトを設定します。

行追加	最終行に空白行を追加します
行挿入	選択行の上に空白行を追加します
行削除	選択行を削除します

エリア内設定

行追加	1 行分の高さを追加します
行削除	追加された行を削除します（レイアウト上の行は削除されません）
列追加	1 行内に列を追加して分割します（最大 3 列までの分割が可能です）
列削除	追加された列を削除します。

3. 出力先から出力時の形式を選択して［終了］をクリックします。
4. 「設定内容を保存しますか？」のメッセージが表示すれば［はい］を選択します。

一括出力を実行する

1. 一括出力（店舗）の設定画面で［実行］をクリックします。
2. フォルダーの参照画面より保存先を指定します。（ファイル保存の場合のみ設定します）

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、［はい］を選択すると設定内容が保存されます。
- 出力対象となる店舗数やカテゴリー数が多いと出力時間が長くなります。
- 追加変更棚割表や追加変更棚割図表には選択可能項目に「台/段/列（旧）」や「台（旧）」、「段（旧）」、「列（旧）」などの項目があり、出力項目にそれらを含めた場合、変更前の位置情報が出力されます。（位置変更の商品だけが対象となります）
- 変更項目（新規/追加/削除/位置変更/店舗内移動/フェイス変更/継続）は［詳細設定］内の出力変更内容より設定します。
  [環境設定]-[棚割操作]-[変更内容]の使用設定により変更項目の表示が変わります。

新規	・[環境設定]-［棚割操作]-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=無効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品 ・[環境設定]-［棚割操作]-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=有効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、該当店舗の全棚割情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

追加	基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品だが、該当店舗の他棚割情報には存在する商品
削除	・[環境設定]-［棚割操作]-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=無効 基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品 ・[環境設定]-［棚割操作]-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=有効 基準情報の棚割変更日を基準に、該当店舗の全棚割情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品
位置変更	比較モデル情報と比較した結果、[台][段]が異なる商品
店舗内移動	基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品だが、該当店舗の他棚割情報には存在する商品
フェイス変更	比較モデル情報と比較した結果、フェイス数が異なる商品
継続	比較モデル情報と比較した結果、変更がない商品

- すべての帳票に共通する設定は［共通設定］より設定できます。　（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 各帳票の細かな設定は［詳細設定］より設定できます。（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 「日付指定で比較する」を選択した場合は、店舗変更情報でなく棚割パターン同士の比較となります。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－３　店舗への作業指示書を作成する(変更什器を確認する)

概要

集計帳票(店舗)の機能を使用して各店舗の変更される什器の作業指示書を作成することができます。
変更前と変更後の什器を比較して、追加される棚の種類や枚数を一覧形式で出力することが可能です。

起動方法

操作方法

1. ［帳票作成］－［集計帳票(店舗)］を選択します。
2. 集計帳票(店舗)画面の［基本］タブより「追加変更什器一覧表」を選択して［選択］をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリー、店舗を選択します。
4. どの時点での変更を確認するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前（本日日付を含む）で直近過去の情報を対象にします。
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の直近過去の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします

5. ［閉じる］を選択して検索画面を閉じます。
6. 出力項目を設定します。
   選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします。(もしくは出力したい項目をダブルクリックします)
7. ［実行］をクリックします。

特記事項

- 追加変更什器一覧表の出力形式はCSVのみとなります。
- 什器を比較して変更がない場合には、実行時に「出力対象情報が存在しません」のメッセージが表示されます。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－３　店舗への作業指示書を作成する（割付状況を確認する）

概要

集計帳票（店舗）の機能を使用して各店舗における割付状況の作業指示書を作成することができます。
変更前と変更後の割付状況を比較して、どの店舗に割付が追加または解除されたのかを一覧形式で出力することが可能です。

起動方法

操作方法

1. ［帳票作成］－［集計帳票（店舗）］を選択します。
2. 集計帳票（店舗）画面の［基本］タブより「棚割変更一覧表」を選択して［選択］をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリー、店舗を選択します。
4. どの時点での変更を確認するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前（本日日付を含む）で直近過去の情報を対象にします。
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の直近過去の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします

5. ［閉じる］を選択して検索画面を閉じます。
6. 出力項目を設定します。
   選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします。（もしくは出力したい項目をダブルクリックします）
7. ［実行］をクリックします。

特記事項

- 変更項目（新規/削除/継続）は［詳細設定］内の変更内容より設定します。
- すべての帳票に共通する設定は［共通設定］より設定できます。　（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 割付状況を比較して変更がない場合には、実行時に「出力対象情報が存在しません」のメッセージが表示されます。

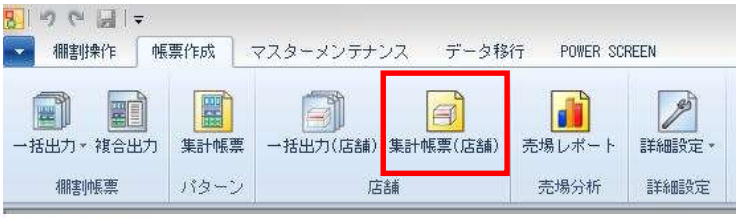
© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－４　店舗の陳列商品を確認する（採用商品を確認する）

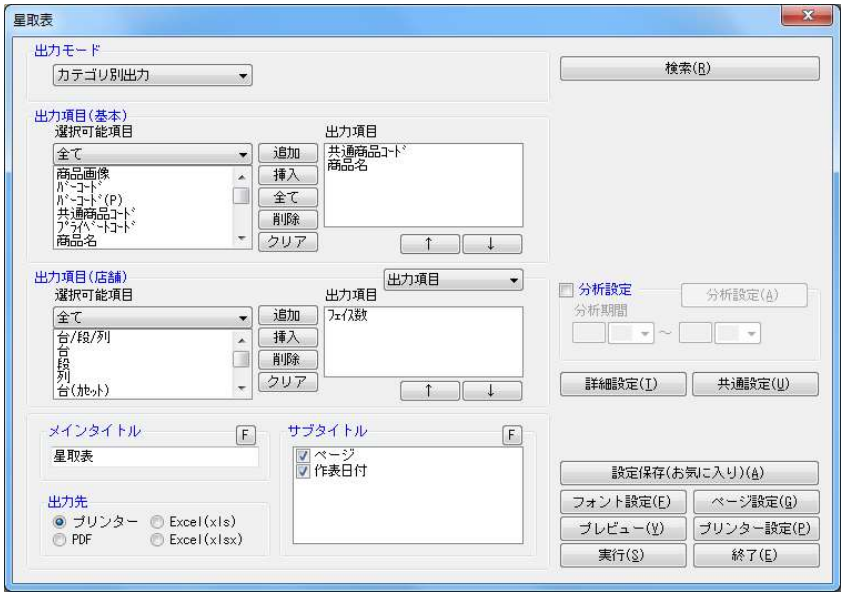
概要

集計帳票（店舗）では店舗で採用している商品を確認できる「星取表」を出力することができます。
星取表は１店舗だけでなく、複数店舗を同時に表示させて採用している商品を一覧形式で確認できます。

起動方法



操作方法



1. ［帳票作成］－［集計帳票（店舗）］を選択します。
2. 集計帳票（店舗）画面の［基本］タブより「星取表」を選択して［選択］をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリー、店舗を選択します。
4. どの時点での採用商品を確認するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近の情報を対象にします

［閉じる］を選択して検索画面を閉じます。

5. 出力モードを設定します。

カテゴリー別出力	明細をカテゴリー毎に分けて出力します。
集計出力	明細をカテゴリー毎に分けず集計して出力します。

6. 出力項目（基本）を設定します。
選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします。（もしくは出力したい項目をダブルクリックします）

©2016 CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

7. 出力項目（記号）を設定します。

記号	商品が採用されている場合に記号（〇）で表示します。
フェイス	商品が採用されている場合にフェイス数を表示します
出力項目	商品が採用されている場合に表示させる項目を選択します。 （選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします）

8. 出力先から出力時の形式を選択します。
9. ［実行］をクリックします。

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、［はい］を選択すると設定内容が保存されます。
- 出力対象となる店舗数や売場（カテゴリー）数が多いと出力にかける時間が長くなります。
- 実施モデルの作成後、棚割モデル割付で店舗の割付がされていない場合は星取表を出力できません。
- すべての帳票に共通する設定は［共通設定］より設定できます。　（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 星取表を出力する時の細かな設定は［詳細設定］より設定できます。（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 星取表の［詳細設定］より「棚割モデル割付状況も出力する」を有効にして設定すると店舗で採用されているパターンを同時に確認できる星取表が出力されます。（カテゴリー別出力のみ）
- 星取表の、［詳細設定］より「基本項目にカテゴリーを出力する」を有効にして設定すると、カテゴリー項目が左端に表示された状態で出力されます。（カテゴリー別出力のみ）
- 出力モードを「カテゴリー別出力」にされた場合、カテゴリーコードの昇順で明細が出力されます。

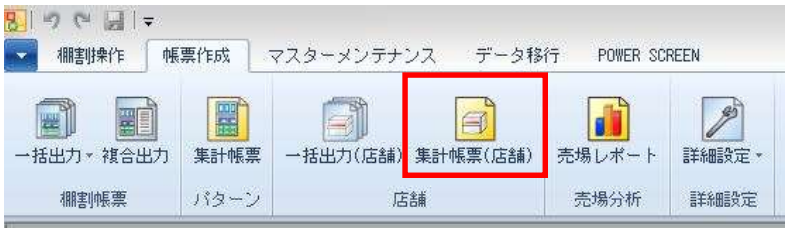
©2016 CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－４　店舗の陳列商品を確認する(陳列商品を検索する)

概要

集計帳票(店舗)では店舗に陳列されている商品を検索できる「陳列検索」を実行することができます。
店舗とカテゴリー(売場)を指定して陳列商品を検索したり、検索したい商品の JAN コードを入力して店舗のどのカテゴリー（売場）に陳列されているかを確認できます。

起動方法



操作方法

店舗やカテゴリー(売場)を指定して陳列商品を検索する

1. ［帳票作成］－［集計帳票(店舗)］を選択します。
2. 集計帳票(店舗)画面の［基本］タブより「陳列検索」を選択して［選択］をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリー、店舗を選択します。
4. どの時点での陳列商品を検索するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近の情報を対象にします
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします
範囲指定	設定範囲内の情報を対象にします

5. 検索条件で「全情報検索」に設定します。
6. 出力項目(基本)を設定します。
   選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします。(もしくは出力したい項目をダブルクリックします)
7. 出力先から出力時の形式を選択します。
8. ［実行］をクリックします。

©2016 CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

JAN コードを入力して陳列場所を検索する

1. ［帳票作成］－［集計帳票(店舗)］を選択します。
2. 集計帳票(店舗)画面の［基本］タブより「陳列検索」を選択して［選択］をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリー、店舗を選択します。
4. どの時点での採用商品を確認するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近の情報を対象にします
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします

5. 検索条件で「コード検索」に設定します。
6. コード検索の設定箇所でコードの種類を設定します。
7. コードを入力します。

棚割モデル読込	作成した棚割モデルを選択して、陳列されている商品を読み込みます
ファイル読込	Excel や CSV ファイルに入力されているコードを読み込みます
貼り付け	クリップボードコピーされている JAN コードを貼り付けます

8. 出力項目(基本)を設定します。
   選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします。(もしくは出力したい項目をダブルクリックします)
9. 出力先から出力時の形式を選択します。
10. ［実行］をクリックします。

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい］を選択すると設定内容が保存されます。
- 出力対象となる店舗数やカテゴリー（売場)数が多いと出力にかける時間が長くなります。
- すべての帳票に共通する設定は［共通設定］より設定できます。　（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 陳列検索を実行する時の細かな設定は［詳細設定］より設定できます。(詳細は仕様マニュアルをご確認ください)
- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより棚割変更日の詳細を確認できます。
- 変更項目（新規/追加/削除/位置変更/店舗内移動/フェイス変更/継続）は［詳細設定］内の出力変更内容より設定します。
  [環境設定]-[棚割操作]-[変更内容]の使用設定により変更項目の表示が変わります。

新規	・[環境設定]-［棚割操作］-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=無効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品 ・[環境設定]-［棚割操作］-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=有効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、該当店舗の全棚割情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品
追加	基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、基準情報にしか存在しない商品だが、該当店舗の他棚割情報には存在する商品
削除	・[環境設定]-［棚割操作］-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=無効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品 ・[環境設定]-［棚割操作］-[店舗保存処理で新規商品と追加商品を区別して求める]=有効の場合 基準情報の棚割変更日を基準に、該当店舗の全棚割情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品
位置変更	直近過去情報と比較した結果、[台][段]が異なる商品
店舗内移動	基準情報の棚割変更日を基準に、直近過去情報と比較した結果、比較情報にしか存在しない商品だが、該当店舗の他棚割情報には存在する商品
フェイス変更	直近過去情報と比較した結果、フェイス数が異なる商品
継続	直近過去情報と比較した結果、変更がない商品

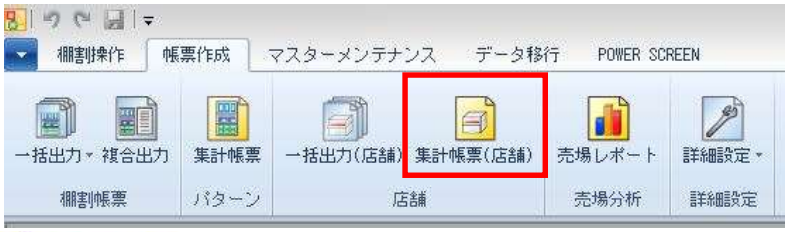
©2016 CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

７－４　店舗の陳列商品を確認する（部門ごとの採用商品数を確認する）

概要

集計帳票（店舗）では店舗に陳列されている商品数を部門ごとに確認できる「商品部門集計表」を実行することができます。
部門と店舗を指定することで店舗内に陳列されている商品のアイテム数や陳列在庫数量などが部門・店舗別で確認できます。

起動方法



操作方法

部門を指定して陳列商品を検索する

1. ［帳票作成］－［集計帳票（店舗）］を選択します。
2. 集計帳票（店舗）画面の［基本］タブより「商品部門集計表」を選択して［選択］をクリックします。
3. 検索画面で出力対象となる部門、店舗を選択します。
4. どの時点での採用商品数を確認するかを棚割変更日で設定します。

現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします
入力日の直近過去	入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近の情報を対象にします

5. 出力項目を設定します。
   選択可能項目より出力したい項目を選択して［追加］をクリックします。（もしくは出力したい項目をダブルクリックします）
6. 出力先から出力時の形式を選択します。
7. ［実行］をクリックします。

©2016 CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 出力後に［終了］や［×］ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、［はい］を選択すると設定内容が保存されます。
- すべての帳票に共通する設定は［共通設定］より設定できます。　（詳細は仕様マニュアルをご確認ください）
- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより棚割変更日の詳細を確認できます。

©2016 CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

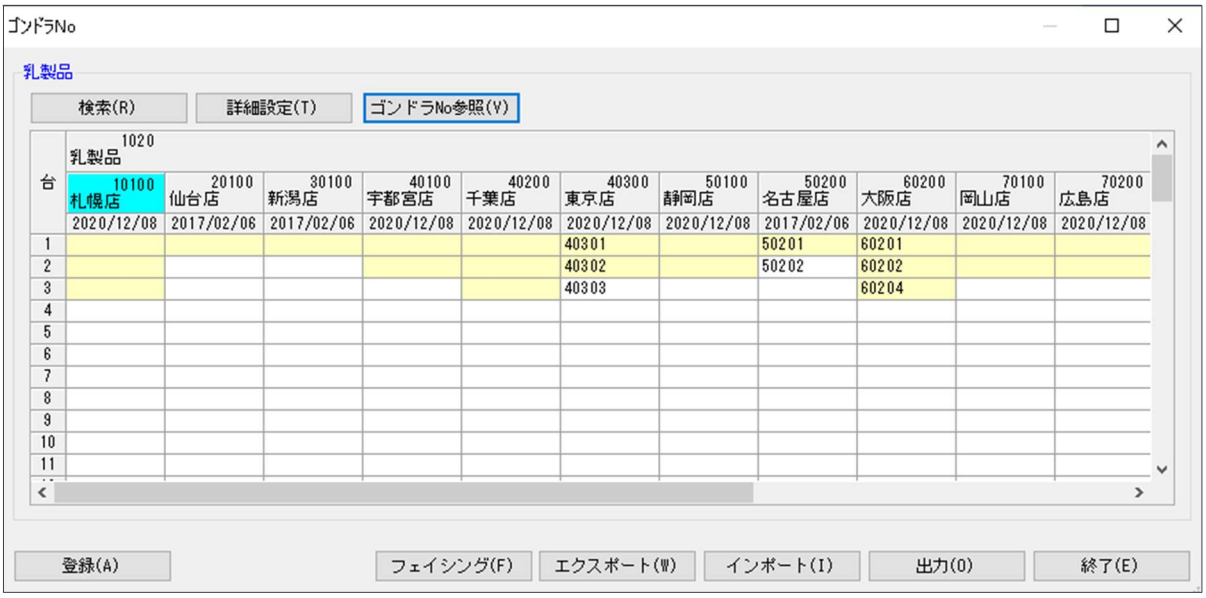
８－１　ゴンドラ No を登録する

概要

実施モデルを店舗に割り付けると、店ＰＯＷＥＲ内で店舗別の陳列データが自動で作成されます。
ここでは店ごとのゴンドラ No を登録することができます。

起動方法

操作方法



店ＰＯＷＥＲ上でゴンドラ No を登録する

1. ［棚割操作］－［ゴンドラ No］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近過去	入力した日付以前（本日日付を含む）で直近過去の情報を対象にします。

4. ゴンドラ No を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
   （店舗で絞り込んだ場合には「部門」や「カテゴリー」が未設定でも実行することが可能です）
5. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
6. 棚割モデルと台の一覧が表示されます。
7. 黄色のセルをダブルクリックし、ゴンドラ No を入力します。
8. ［登録］をクリックします。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

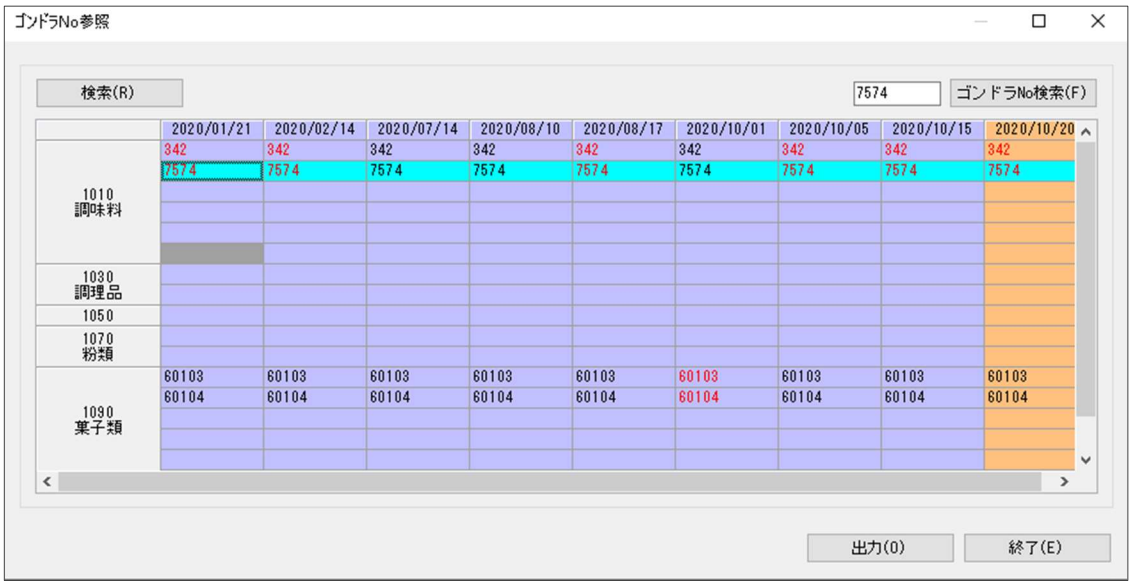
Excel ファイルからゴンドラ No を登録する

1. ［棚割操作］－［ゴンドラ No］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近過去	入力した日付以前（本日日付を含む）で直近過去の情報を対象にします。

4. ゴンドラ No を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
   （店舗で絞り込んだ場合には「部門」や「カテゴリー」が未設定でも実行することが可能です）
5. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
6. 棚割モデル一覧と店舗一覧が表示されます。
7. ［エクスポート］をクリックし、任意の場所に Excel ファイルを保存します。
8. Excel ファイルに「ゴンドラ No」画面の内容が記載されているため、Excel ファイル内で割付の内容を変更し保存します。
9. ［インポート］をクリックし、8 で保存した Excel ファイルを指定します。
10. Excel ファイルの編集内容が「ゴンドラ No」画面に反映されます。
11. ［登録］をクリックします。

店 POWER に登録したゴンドラ No を確認する



1. ［棚割操作］－［ゴンドラ No］より[ゴンドラ No 参照]をクリックします。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を指定します。
4. [店舗]よりゴンドラ No を確認する店舗を選択します。
5. ［実行］をクリックするとゴンドラ No の参照画面が表示します。
   指定した棚割変更日の時点までの店舗のゴンドラ No が表示されます。
   赤字で表示されているゴンドラ No は棚割変更日と同じ日に変更があったゴンドラ No となります。

「ゴンドラ No 検索」より該当のゴンドラ No がいつの時点で登録されているかどうか検索することができます。
「ゴンドラ No 検索」に入力したゴンドラ No が店舗にあった場合、水色で表示されます。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- ［出力］から指定した店舗のゴンドラ No の登録状況が出力できます。
- 登録したゴンドラ No は店舗へ発行する帳票にも出力することができます。また、陳列データとして基幹システムに連携できるため、ゴンドラ No を店内の地番として管理登録しておけば、通路別納品などにデータを利用することもできます。
- 店ＰＯＷＥＲを床ＰＯＷＥＲと連携させていた場合、床ＰＯＷＥＲで登録したゴンドラ No を店ＰＯＷＥＲの陳列データに反映させることもできます。
- [環境設定]－[棚割操作]-「オプション設定」で「過不足チェックを行う（ゴンドラ No）」を有効にすると、棚割モデル割付時など台の増減が発生する場合に、不足または過多分のゴンドラ No を登録する画面が表示します。
- [環境設定]－[棚割操作]-「オプション設定」で「同一値設定を許可する（ゴンドラ No）」を有効にすると、1 店舗内の別カテゴリーに同じゴンドラ No を設定することができます。
- [ゴンドラ No 参照]画面で、該当カテゴリーと店舗に割付自体がない場所は灰色で表示されます。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

８－２　商品の発注数を設定する

概要

店ＰＯＷＥＲでは、各店舗の棚割モデルを管理するため、店舗別の取扱商品をすぐに確認できます。
さらに新旧の棚割を比較して、新規採用になった商品だけを抽出することもできます。このデータは陳列データとして基幹システムに連携できるため、店ＰＯＷＥＲ上で新店発注、新規発注に利用する発注データを作成できます。

起動方法

操作方法

新規発注を行なう（新旧棚割を比較して、新たに追加された商品のみが発注対象）

1. ［棚割操作］－［発注］－［発注(新規発注)］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします。

4. 発注数を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
6. 商品と該当店舗の一覧が表示されます。
7. 商品と店舗が交差する箇所をダブルクリックし、発注数を入力します。
8. ［登録］をクリックします。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

新店発注を行なう（指定した部門・カテゴリー・店舗に陳列されている全ての商品が発注対象）

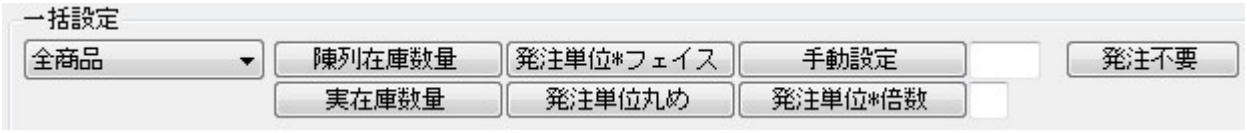
1. ［棚割操作］－［発注］－［発注(新店発注)］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします。

4. 発注数を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
6. 商品と該当店舗の一覧が表示されます。
7. 商品と店舗が交差する箇所をダブルクリックし、発注数を入力します。
8. ［登録］をクリックします。

発注数を一括で設定する

発注数を入力する設定画面を表示させた後、「一括設定」では複数の商品の発注数をまとめて入力できます。
プルダウンメニューから、一括設定の対象として「選択商品」または「全商品」を選択します。
発注数を反映させる方法を設定してから［登録］をクリックします。



「選択商品」	一覧内で選択した商品のみを対象に一括で発注数を設定します。
「全商品」	一覧に表示している全商品を対象に一括で発注数を設定します。
［陳列在庫数量］	陳列在庫数量を設定します。
［実在庫数量］	実在庫数量を設定します。
［発注単位*フェイス］	【「発注単位」×「フェイス数」】を設定します。
［発注単位丸め］	【「発注単位」の整数部分×「発注単位」】を設定します。
［手動設定］	テキストボックスに入力した数値を設定します。
［発注単位*倍数］	【「発注単位」×テキストボックスに入力した数値】を設定します。
［発注不要］	各商品に[XXXX]を設定します。（発注が不要な商品に設定します）

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

Excel ファイルから発注数を登録する

［発注(新規発注)］もしくは［発注(新店発注)］より発注数を入力する設定画面を表示させてから Excel のひな形ファイルを使って発注数をまとめて入力することが可能です。

1. ［エクスポート］をクリックし、任意の場所に Excel ファイルを保存します。
2. Excel ファイルに「発注」画面の内容が記載されているため、Excel ファイル内で発注数を入力し保存します。
3. ［インポート］をクリックし、手順 2 で保存した Excel ファイルを指定します。
4. Excel ファイルの編集内容が「発注」画面に反映されます。
5. ［登録］をクリックします。

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- ［詳細設定］から画面の表示方法を変更することができます。

店舗の商品の陳列状況を発注の参考値として表示する	「表示項目（店舗）」のプルダウンメニューから「フェイス」「陳列在庫数量」「実在庫数量」のいずれかを発注数の左側に表示させることができます。
商品の表示順を変更する	「明細出力順」のプルダウンメニューから「共通商品コード」「プライベートコード」「台/段/列（下段）」「台/段/列（上段）」のいずれかに表示順を変更できます。

- 発注不要で設定した陳列商品は[TP-INOUT]では抽出対象外になります。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

８－３　商品の最大在庫や最小在庫を登録する

概要

最大在庫および最小在庫を登録して店舗ごとに時系列で設定内容を保持できます。
最大在庫を設定して店舗に送り込まれる数量を制限したり最小在庫を設定して発注開始時点の目安にする等、自動発注時などに使用するデータとしての利用が可能です。

起動方法

操作方法

店ＰＯＷＥＲで在庫数を入力して登録する

1. ［棚割操作］－［最大在庫 最小在庫］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（本日日付を含む）で直近未来の情報を対象にします。

4. 最大/最小在庫を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. 設定情報を設定します。

陳列商品	陳列されている全商品を対象に設定します。
追加商品	新規商品だけを対象に設定します。

6. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
7. 店舗を軸にして、左右に空白セルが表示します。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

（左側のセルは最大在庫、右側のセルは最小在庫の設定する場所になります）

8. 最大在庫や最小在庫を各セルに手入力します。
9. 一括設定する場合は、最初に対象商品を「全商品」にするか「選択商品」にするかを設定します。
   次に「最大在庫」に設定するか「最小在庫」に入力するかを設定してから以下のボタンをクリックします。

陳列在庫数量	陳列されている商品の在庫数量を反映します。
フェイス*積上	陳列されている商品のフェイス数と積上を掛けた値を反映します。
手動設定	テキストボックスに入力された値を反映します。
実在庫数量	陳列されている商品の実在庫数量を反映します。

10. ［登録］をクリックします。

Excel ファイルから在庫数を登録する

1. ［棚割操作］－［最大在庫 最小在庫］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（本日日付を含む）で直近未来の情報を対象にします。

4. 最大/最小在庫を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. 設定情報を設定します。

陳列商品	陳列されている全商品を対象に設定します。
追加商品	新規商品だけを対象に設定します。

6. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
7. ［エクスポート］を選択して任意の場所に Excel ファイルを保存します。
8. 出力した Excel ファイルを開き、各商品の最大在庫や最小在庫を入力して上書き保存します。
9. ［インポート］をクリックし、8 で保存した Excel ファイルを指定します。
10. Excel の編集内容が最大在庫や最小在庫に反映します。
11. ［登録］をクリックします。

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- ［詳細設定］の表示項目設定で各商品の表示項目を変更することができます。
- ［詳細設定］の表示項目(店舗)を設定することで、各店舗ごとに陳列されているフェイス数や陳列在庫数量、実在庫を表示させることが可能です。
- Excel ファイルをインポートする際の必須項目は「店舗コード」「共通商品コード」「最大在庫」「最小在庫」です。
- 最大在庫や最小在庫を登録しても各棚割モデルの陳列在庫数量は変更されず、陳列データとは別に最大在庫や最小在庫の設定情報を保存します。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

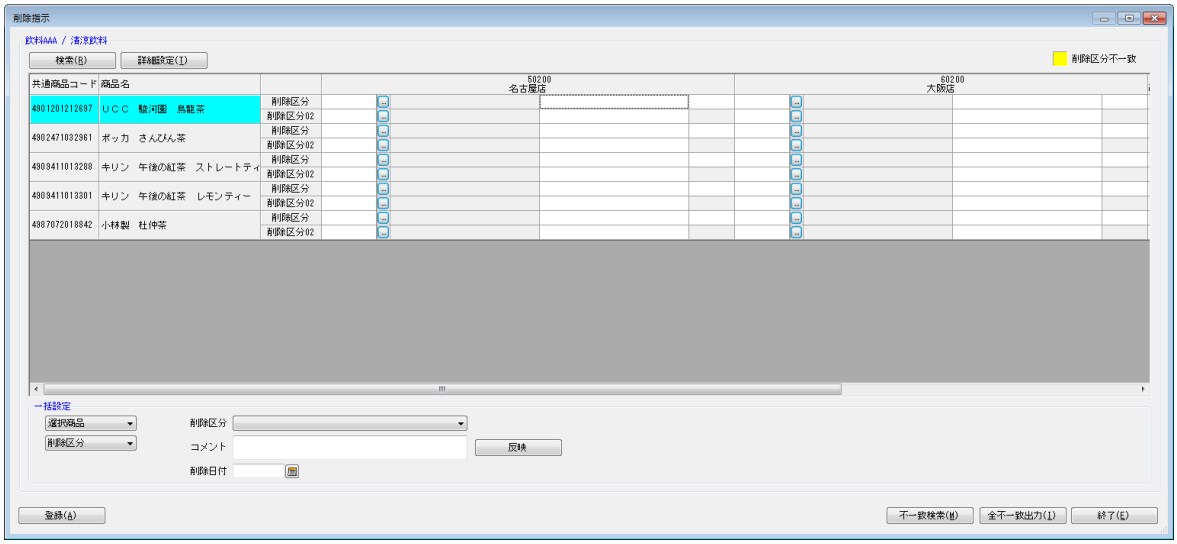
８－４　削除商品の区分を登録する

概要

棚割変更でカットされた商品の削除区分を登録することができ、各商品に登録された削除区分は帳票出力時に反映させたり、基幹システムとの連携時に区分情報を含めることができます。
棚割編集時や商品一括入換の実行時には削除区分が全商品に反映するため、商品ごとに削除区分が異なる場合に設定します。
また、一店舗内で同一商品の削除区分が不一致になっているかを確認することも可能です。

起動方法

操作方法



削除区分を登録する

1. ［棚割操作］－［削除指示］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。（必須）
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（本日日付を含む）で直近未来の情報を対象にします。

4. 削除区分を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
6. 店舗を軸にして、カットされた商品の一覧が表示します。
7. 各商品のセレクトボタンを選択して削除区分を設定します。
8. 一括設定する場合は、最初に対象商品を「全商品」にするか「選択商品」にするかを設定します。
9. 削除区分より該当の区分を設定します。（任意で、環境によりコメント・日付の設定が可能です。）
10. 削除区分の設定後、［反映］をクリックします。
11. ［登録］をクリックします。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

Excel ファイルから削除区分を登録する

1. ［棚割操作］－［削除指示］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。(必須)
3. 棚割変更日を設定します。
4. 削除区分を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
6. ［エクスポート］をクリックし、任意の場所に Excel ファイルを保存します。
7. Excel ファイルに削除区分を入力して上書き保存します。(任意で、環境によりコメント・日付の設定が可能です。)
8. ［インポート］をクリックし、手順 7 で保存した Excel ファイルを指定します。
9. Excel ファイルの編集内容が「削除指示」画面に反映されます。
10. ［登録］をクリックします。

削除区分が不一致の商品を検索する

1. ［棚割操作］－［削除指示］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。(必須)
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（本日日付を含む）で直近未来の情報を対象にします。

4. 削除区分を登録する店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. ［実行］をクリックすると設定画面が表示します。
6. 店舗を軸にして、カットされた商品の一覧が表示します。
7. ［不一致検索］をクリックすると削除区分が不一致の商品のセルに色がつきます。
8. 正しい削除区分に修正して［登録］をクリックします。

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 削除区分は最大 2 つまで設定可能です。
  使用環境により、「削除区分」はドロップダウンリストあるいはボタンが表示されます。
  使用している削除区分の数、コメントや日付機能により、表示される画面が異なります。
- 棚割変更日が「現状」の場合、削除区分を登録することができません。(確認のみ可能です)
- ［詳細設定］の表示項目設定で各商品の表示項目変更や削除商品の明細出力順を変更することも可能です。
- 一括設定の対象を「選択商品」とした場合、選択している商品の削除区分を各店舗に反映させます。
- ［全不一致出力］より全部門、全店舗から削除区分が不一致になっている商品を検索して Excel に出力することができます。
- 異なるカテゴリー(売場)に同一商品を陳列しており、各カテゴリー(売場)から同一商品を削除する際に別々の削除区分を設定している場合に削除区分が不一致になります。
- ［マスターメンテナンス］－［詳細設定］－［削除区分］より、選択する削除区分の追加、更新、削除が可能です。

©CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

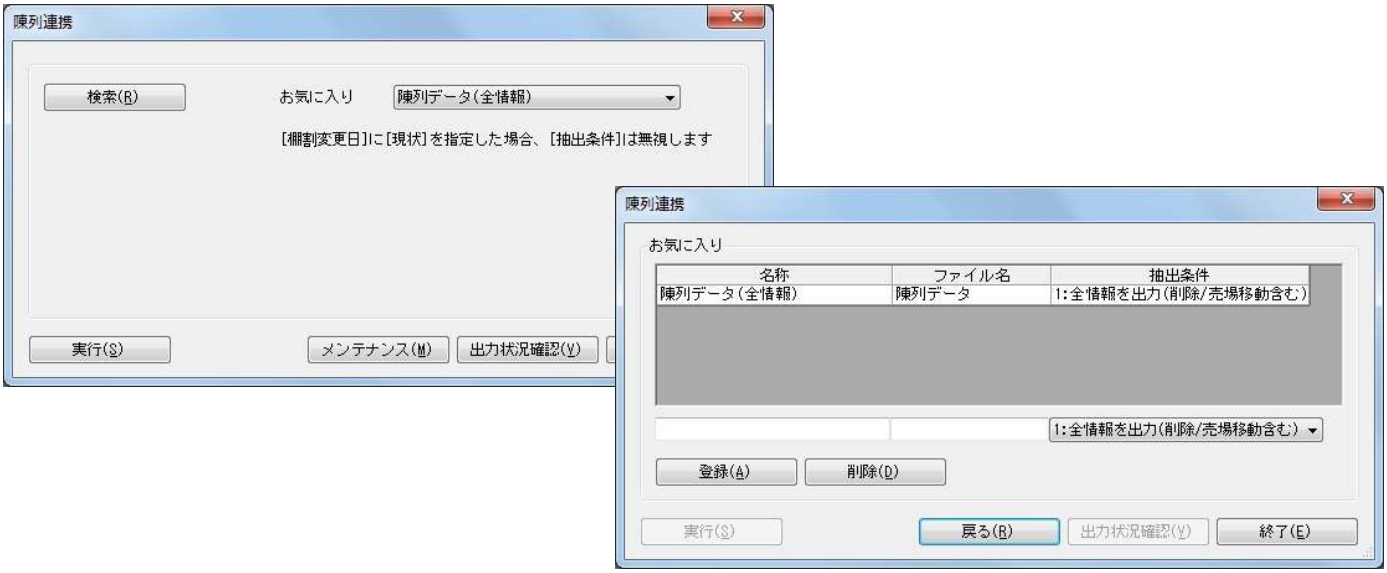
８－５　商品の陳列データを抽出する

概要

抽出条件を設定して各店舗の陳列データを手動で予約することができます。
抽出した陳列データは TP-INOUT で基幹システムと連携させて、プライスカードや商品台帳を発行する場合などに使用できます。

起動方法

操作方法



陳列データを連携する

1. ［棚割操作］－［陳列連携］を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。
3. 棚割変更日を設定します。

未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で直近過去の情報を対象にします
入力日の未来	入力日付以降（本日日付は含まず）で未来の情報を対象にします

4. 陳列データを連携させる店舗を絞り込む場合は、［直接検索］タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
   連携する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、［パターン検索］から［パターン］を選択します。
5. お気に入りより登録されている抽出条件を選択します。
6. ［実行］をクリックします。（データ抽出予約テーブルに情報を書き出します）
7. TP-INOUT で「店 POWER 陳列連携処理抽出実行コマンド」を実行することにより連携処理が開始します。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

お気に入り(抽出条件)を設定する

1. ［棚割操作］－［陳列連携］を選択します。
2. 検索画面を閉じてから、[メンテナンス]をクリックします。
3. テキストボックスに名称とファイル名を入力して、抽出条件を設定します。
4. ［登録］をクリックします。
5. 登録後は「お気に入り」より選択できます。

出力状況を確認する

1. ［棚割操作］－［陳列連携］を選択します。
2. 検索画面を閉じてから、[出力状況確認]をクリックします。
3. 出力状況確認画面が表示されます。
4. 抽出不要な予約情報があれば、該当情報を選択して［削除］をクリックします。

特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 棚割変更日を「現状」にしている場合は抽出条件を無視して、全情報（削除/売場移動を含む)を出力します。
  この時、変更区分は空白で出力します。
- 出力状況確認で表示している予約情報は連携後には削除されます。
  (「店 POWER 陳列連携処理抽出実行コマンド」を実行して処理が終了すれば削除されます)
- お気に入りを設定できるのは管理者に限定されるため、設定される場合は管理者 ID でログインしてください。

© CYBERLINKS co.,LTD. All rights reserved.

※ 店 POWER，棚POWERは株式会社サイバーリンクスの登録商標です。
※ その他記載されている商品名、社名は一般に各社の商標および登録商標です。

小売業向けマーチャンダイジングサポートシステム

店POWER®

操作マニュアル

2024 年 05 月発行

発　行

株式会社サイバーリンクス

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 4-3-7
MPR 新大阪ビル 8 階

TEL: 06(6398)6965　FAX: 06(6398)6960
E-mail: tp-info@cyber-l.co.jp